

小山市経済動向実態調査

(令和3年度第1回小山市景気動向アンケート調査結果)

令和3年9月

小山市産業観光部商業観光課委託

白鷗大学ビジネス開発研究所

小山市経済動向実態調査

(令和3年度第1回小山市景気動向アンケート調査結果)

目次

要旨	1
1. 調査の目的	3
2. 調査対象・調査内容	3
2.1. 調査対象	3
2.2. 調査内容	6
3. 調査結果	7
3.1. 全般的な小山市の景気	7
3.2. 小山市における業界の景気	13
3.3. 昨今の社会・経済情勢に関する質問	27
4. まとめ	33
(参考資料)	35
i. 小山市景気動向アンケート調査票(令和3年度第1回)	35
ii. 小山市景気動向アンケート調査(令和3年度第1回)の回答一覧	41
iii. 小山市景気動向アンケート調査(時系列データ)	67

小山市経済動向実態調査プロジェクトメンバー

白鷗大学経営学部准教授・ビジネス開発研究所運営委員	西谷 勢至子
白鷗大学経営学部講師・ビジネス開発研究所運営委員	八尾 政行
白鷗大学総合研究所担当職員	櫻庭 律子
(協力)白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所所長	小笠原 伸

小山市経済動向実態調査

(令和3年第1回小山市景気動向調査)

令和3年9月

白鷗大学ビジネス開発研究所

白鷗大学ビジネス開発研究所では、小山市産業観光部商業観光課からの委託を受けて小山市の消費面を中心とした経済動向を把握するため、平成14年度以降、小山市経済動向実態調査を実施している。令和3年度小山市経済動向実態調査では、小山市景気動向アンケート調査(6月と12月)とヒアリング調査(1月)を予定している。本報告書は令和3年度小山市景気動向アンケート調査(第1回)の調査結果をまとめたものである。

要旨

令和3年6月から7月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査(令和3年度第1回)」の結果をみると、令和3年上半期(1~6月期)の小山市の全般的な景況感は、前回調査(令和2年下半期(7~12月期)、前々回調査(令和2年上半期(1~6月期)から「悪い」の割合が低下し、「やや悪い」の割合が上昇し、景況感は回復傾向にあることがわかる。景気動向指数(DI)の観点からも、同様の傾向が観察されるが、いまだ50%を大きく下回っており、依然として厳しい景況感の表れとなった。その理由としては、「お客様や取引先の様子」、「小山市の人出の状況」、「周辺地域の様子」といったものが上位に挙げられていたが、それらは令和2年の初頭から続く、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に起因するものであると考えられる。また、小山市の景気見通しに関して、前回の調査と比べ、「やや良くなる」の割合が大きく上昇し、「やや悪くなる」、「悪くなる」の割合が大きく低下した。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことへの期待が多く挙げられていた。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行の収束が見通せないことから、状況が大きく改善しないとの予測も挙げられていた。先行きの不透明感から意見が分かれる結果となったものの、全般的には、景気は回復に向かうとの見通しだった。

業界の小山市での売上金額についての回答についてみると、令和3年上半期(1~6月期)は「減少した」の割合が大きく低下した。DIも前回、前々回調査から上昇傾向にあるものの、50%には至っていない。売上見通しについては、「やや増加する」、「変わらない」の割合が大きく上昇し、「やや減少する」、「減少する」の割合が大きく低下した。DIも横ばいだった前回調査、前々回調査から大きく上昇し、令和元年上半期(1~6月期)以来50%を上回った。これらの理由についても、ワクチン接種の進むことへの期待や、令和3年8月に延期された、東京オリンピックの経済効果への期待が挙げられていた。

販売価格見通しについて、令和3年下半期(7~12月期)は令和3年上半期(1~6月期)と比べ、「やや上昇する」の割合が上昇し、「やや低下する」の割合が低下した。DIも前回、前々回調査から上昇傾向にあり、50%を回復した。雇用見通しについては、令和3年下半期(7~12月期)は令和3年上半期(1~6月期)

と比べ、「横ばい」の割合が上昇した。DI でみると、前回調査から横ばいであるものの、50%を回復した。資金繰りの状況に関して、令和3年下半期(7~12月期)は、「どちらともいえない」の割合が上昇し、「やや悪化した」の割合が低下した。DI でみると、前回、前々回から上昇傾向があるものの、50%には至っていない。資金繰りの状況についての回答の理由についてみると、「売上高の変化」(47.8%)が、他の項目と比べ突出しているものの、前回調査(61.4%)と比べ大きく低下している。一方で、「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」(21.7%)は前回調査(2.3%)と比べ大きく上昇している。賃金等の状況について、前回調査から、「ベースアップを実施」、「定期昇給を実施」の割合が上昇し、「ボーナスの減額」の割合が低下するなど、賃金等の状況に改善の兆しがみられた。

今回のアンケート調査では、既存の質問事項に加え、新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)と、SDGs(Sustainable Development Goals 持続的な開発目標)に関する質問を行った。

コロナ禍に関する質問では、コロナ以前とアンケート対象期間の状況の比較を、供給面、営業・勤務形態等、需要面に分けてたずねた。その結果をみると、「コロナ禍前に比べ需要全体が減少した」(52.2%)の回答割合が突出していることから、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、人々の移動・行動が制限されたことによって、特に需要面が負の影響を著しく受けていることが明らかとなった。

SDGs についての質問では、SDGs に「すでに取り組んでいる」、「取り組む予定である」、「予定はないが取り組みたい」の割合の合計が 63.0%と過半数を超えるものの、「すでに取り組んでいる」の割合は 26.1%と、関心はあるものの具体的な取り組みに至れていない状況が観察された。

以上のように、令和3年上半期(1~6月)の小山市の景況感に関して、前回調査時、前々回調査時同様に、多くの企業・店舗が新型コロナウイルス感染症の流行により経済的に負の影響を受けてはいるものの、部分的には改善の方向に向かいつつある。景気の先行きについては今後の感染症流行をどのように判断するかについて意見が分かれたものの、ワクチン接種の進展が好材料となり、前回調査時、前々回調査時と比べると、見通しが明るいものとなった。

1. 調査の目的

小山市景気動向アンケート調査は、小山市の景気動向を把握するため、小山市の流通業、サービス業、製造業などの企業、店舗に対して小山市の景況、各業界の業況等をアンケート形式で調査したものである。

2. 調査対象・調査内容

2.1. 調査対象

令和3年6月から7月にかけて、小山市内の企業120社程度を対象に小山市の景気動向に関するアンケート調査を行い、46社から回答を得た。回収率は約38%である。

図表 2-1 回答企業の業種別構成

業種	社数(社)	
	今回	前回
流通業(小売業)	10	12
製造業	11	8
金融・保険業	4	4
運輸業	3	3
ホテル・旅館業	1	2
飲食業	5	0
通信・放送業	2	2
不動産・住宅業	2	4
サービス業	6	6
印刷業	1	1
不明	1	2
合計	46	44

(注) 前回は令和2年12月調査

前回調査(令和2年12月)に比べ

- ・ 増加した業種: 製造業、飲食業、
- ・ 減少した業種: 流通業(小売業)、ホテル・旅館業、不動産・住宅業、不明

図表 2-2 回答企業の従業者数

従業員数 (人)	企業数 (社)	構成比 (%)		
		今回	前回	前々回
1~4	7	15.2	18.2	17.4
5~9	7	15.2	9.1	13.0
10~19	5	10.9	11.4	13.0
20~29	1	2.2	2.3	6.5
30~49	6	13.0	13.6	6.5
50~99	6	13.0	20.5	19.6
100 以上	11	23.9	18.2	19.6
不明	3	6.5	6.8	4.3
合計	46	100.0	100.0	100.0

(注) 前は令和 2 年 12 月調査、前々回は令和 2 年 6 月調査。個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100%にならないことがある。

前回調査(令和 2 年 12 月)に比べ

- ・ 構成比が 2%ポイント以上上昇した従業者規模: 5~9 人、100 人以上
- ・ 構成比が 2%ポイント以上減少した従業者規模: 1~4 人、50~99 人

図表 2-3 回答企業の売上高

売上高 (円)	企業数 (社)	構成比 (%)		
		今回	前回	前々回
3,000 万未満	6	13.0	11.4	15.2
3,000 万~1 億未満	4	8.7	11.4	6.5
1 億~5 億未満	12	26.1	29.5	28.3
5 億~10 億未満	4	8.7	9.1	8.7
10 億以上	9	19.6	15.9	17.4
不明・該当なし	11	23.9	22.7	23.9
合計	46	100.0	100.0	100.0

(注) 前は令和 2 年 12 月調査、前々回は令和 2 年 6 月調査。個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100%にならないことがある。

前回調査(令和 2 年 12 月)に比べ

- ・ 構成比が 2%ポイント以上上昇した年間売上高規模: 10 億以上
- ・ 構成比が 2%ポイント以上低下した年間売上高規模: 3,000 万円~1 億円未満、1 億円~5 億円未満

図表 2-4 回答企業における売上割合

小山市内の売上割合 (%)	企業数 (社)	構成比 (%)		
		今回	前回	前々回
80～100	10	21.7	34.1	32.6
60～79	10	21.7	27.3	15.2
40～59	6	13.0	4.5	13.0
20～39	6	13.0	13.6	13.0
0～19	9	19.6	13.6	21.7
不明・該当なし	5	10.9	6.8	4.3
合計	46	100.0	100.0	100.0

(注) 前回は令和2年12月調査、前々回は令和2年6月調査。個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても100%にならないことがある。

小山市内の売上割合が60%以上の企業数の合計は20社(43.4%)となった(前回調査: 61.4%)。

2.2. 調査内容

今回の調査内容は、質問 1 から質問 14 までは、従来の調査と同様に、景況感に関わる項目である。そのうち、質問 1 から質問 4 までは、全般的な小山市の景気の現状および先行きに関してたずね、質問 5 から質問 14 までは、回答企業自身についての現状および先行きに関してたずねている。質問 15、16 は新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)に関する質問事項であり、質問 17 は SDGs(Sustainable Development Goals 持続的な開発目標)に関する質問事項である。

質問 1: 小山市の景気の現状(水準)

質問 2-1: 質問 1 の回答理由

質問 2-2: 質問 2-1 の回答理由

質問 3: 令和 3 年下半期(7~12 月期) の小山市の景気見通し

質問 4: 質問 3 の回答理由

質問 5: 業界の小山市での売上げ(売上金額の増減)

質問 6-1: 質問 5 の回答理由(家計消費向け取引)

質問 6-2: 具体的な回答(家計消費向け取引)

質問 6-1: 質問 5 の回答理由(企業消費向け取引)

質問 6-2: 具体的な回答(企業消費向け取引)

質問 7: 業界の小山市での売上見通し

質問 8: 質問 7 の回答理由

質問 9: 令和 3 年下半期(7~12 月期) の販売価格見通し

質問 10: 令和 3 年下半期(7~12 月期) の雇用見通し

質問 11: 令和 3 年上半期(1~6 月期) の資金繰りの状況

質問 12: 質問 11 の回答理由

質問 13: 令和 3 年度の賃金等の状況

質問 14: 質問 13 の回答理由

質問 15-1: コロナ禍の影響(供給面)

質問 15-2: コロナ禍の影響(営業・勤務形態等)

質問 15-3: コロナ禍の影響(需要面)

質問 16: 質問 15 の回答理由

質問 17-1: SDGs に関する取り組み

質問 17-2: SDGs に関する情報収集の方法

質問 17-3: SDGs の 17 の具体的な目標への関心

質問 17-4: SDGs に関する小山市の政策、広報活動等への期待、要望

3. 調査結果

3.1. 全般的な小山市の景気

質問 1 から質問 4 までは、全般的な小山市の景気についてたずねた。以下その結果を述べる。

3.1.1. 小山市の景気の現状(水準)(質問 1, 2-1, 2-2)

質問 1 では全般的な小山市の景気の現状(水準)をたずねた。令和 3 年上半期(1~6 月期)は「良い」0%、「やや良い」8.7%、「どちらともいえない」19.6%、「やや悪い」60.9%、「悪い」10.9%となった。前回、前々回と比べ「悪い」の割合が下落し、「やや悪い」の割合が上昇した。前回調査(令和 2 年 12 月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「どちらともいえない」(+6.0)、「やや悪い」(+17.7)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「悪い」(-23.2)

となった。DI¹で見ると 31.5%と前回(24.4%)、前々回(10.3%)から回復傾向にあるものの、5 期連続で 50%を下回った(図表 3-1,3-2)。

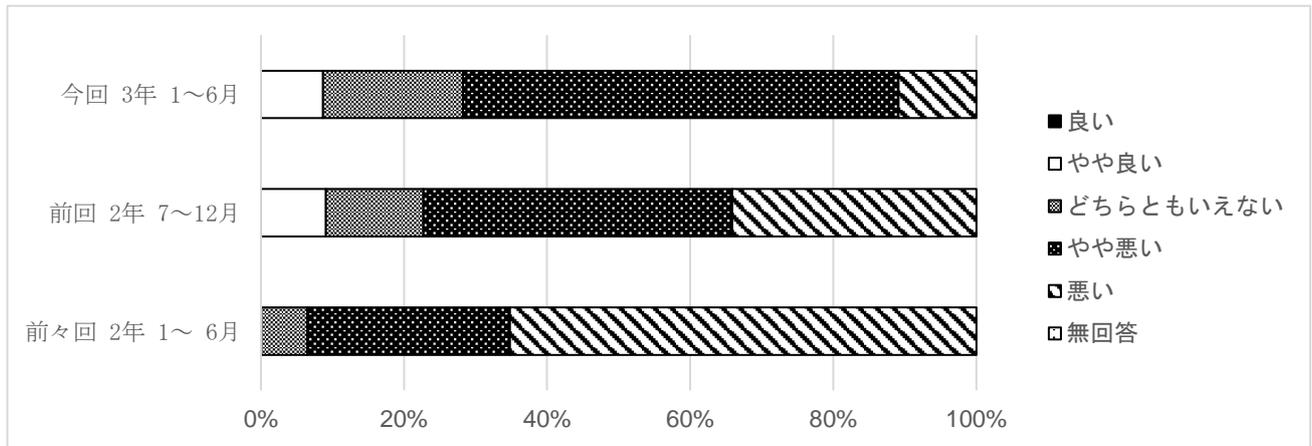
質問 1 の回答理由(質問 2-1)についてみると、「お客様や取引先の様子」(58.7%)、「小山市の人出の状況」(19.6%)、「周辺地域の様子」(15.2%)が上位三位までの理由だった(図表 3-3)。

質問 2-1 の具体的な回答内容(質問 2-2)でも、2020 年から継続している新型コロナウイルス感染症流行による経済活動への負の影響が挙げられていた。

¹ DI (Diffusion Index)とは、景気動向指数の一つであり、回答(%)の「良い」を 1、「やや良い」を 0.75、「どちらともいえない」を 0.5、「やや悪い」を 0.25、「悪い」を 0 として、構成比(無回答を除く)で加重平均したものである。DI が 50%を超えると景気回復、50%を下回ると景気悪化を示唆している。

質問 1: 小山市の景気の現状(水準)

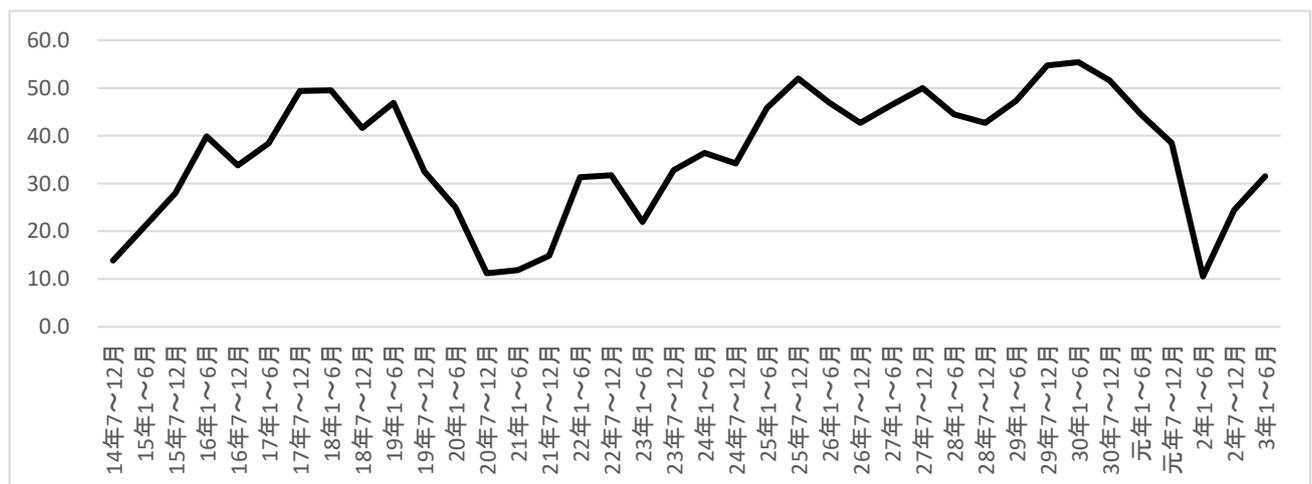
図表 3-1 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



(%)

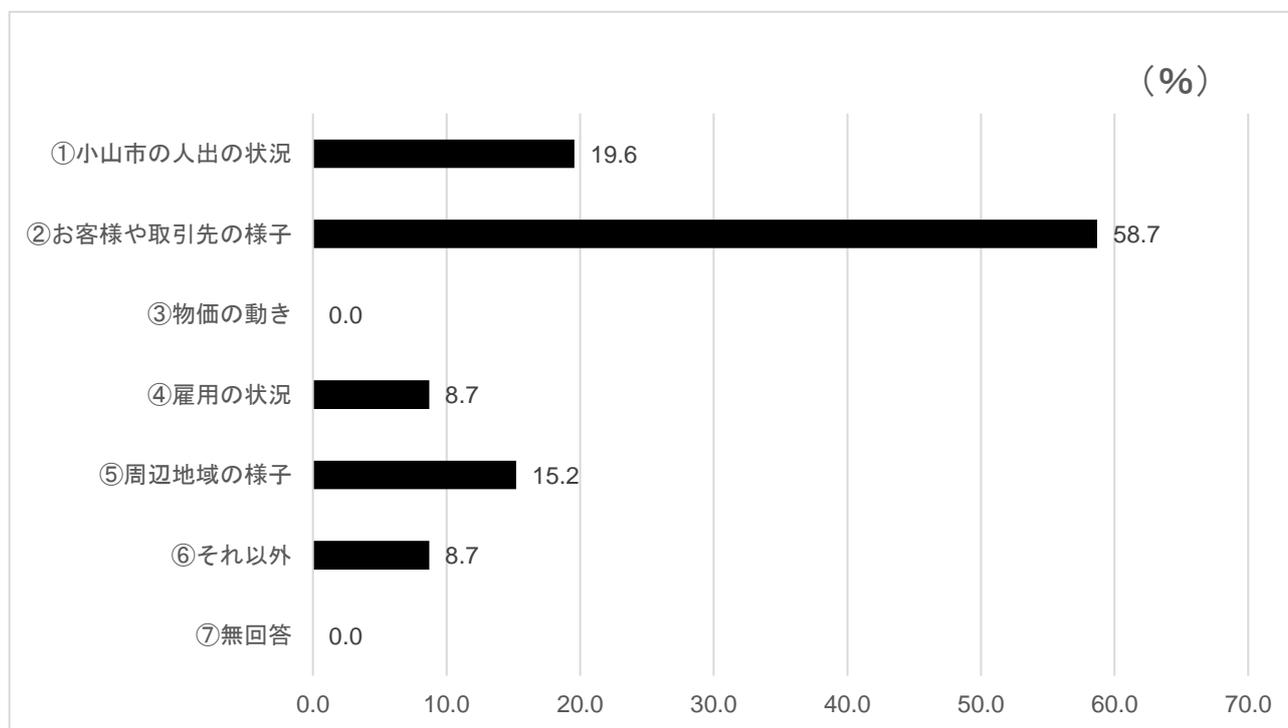
	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い	無回答	DI
今回 3年 1～6月	0.0	8.7	19.6	60.9	10.9	0.0	31.5
前回 2年 7～12月	0.0	9.1	13.6	43.2	34.1	0.0	24.4
前々回 2年 1～6月	0.0	0.0	6.5	28.3	65.2	0.0	10.3

図表 3-2 DI の推移(%)



質問 2-1: 質問 1 の回答理由

図表 3-3 回答の割合と DI(前回、前々回との比較を含む)



質問 2-1 質問 1	割合 (%)						
	①小山市の 人出の状況	②お客様や 取引先の様子	③物価の 動き	④雇用の 状況	⑤周辺地域の 様子	⑥それ 以外	無回答
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	2.2	4.3	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0
どちらともいえない	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
やや悪い	8.7	37.0	0.0	2.2	10.9	6.5	0.0
悪い	4.3	4.3	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	19.6	58.7	0.0	8.7	15.2	8.7	0.0

(注) 46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 2-2: 質問 2-1 の具体的な回答内容

- ◆ やや良い
 - ・ 「昨年の同時期に比べるとコロナ感染者数も少なくなり街中は活気を取り戻しつつある。」(①小山市の人出の状況)
 - ・ 「受注量の増加、人手不足」(②お客様や取引先の様子、④雇用の状況)
- ◆ どちらともいえない
 - ・ 「コロナウイルスの影響により飲食業が苦しんでいる。人出が減っていることを実感している。一方、私共住宅業界は非常に好調である。」(①小山市の人出の状況)
 - ・ 「製造業、非製造業との格差あり、非製造業の内、飲食は特に低迷している。製造業も特色としてプロ人材や副業人材を求める傾向がある。(EC や DX への取り組み)」(④雇用の状況)
- ◆ やや悪い:
 - ・ 「居酒屋など酒提供店の夜間の営業状況が良くない。」(①小山市の人出の状況)
 - ・ 「飲食業に関わる業種、食材卸し、酒類販売店、県南市場(魚・野菜)仲卸しなど飲食に関わる業種は、コロナの影響により非常に厳しい状況が続いています。」(②お客様や取引先の様子)
 - ・ 「離転職者がおおくなっているように感じるため。(離職理由が会社の将来性というのが多いように感じる)」(④雇用の状況)
 - ・ 「大人数の食事会や宴会が規制されており、近くの飲食関係のお店が閉店している」(⑤周辺地域の様子)
- ◆ 悪い:
 - ・ 「コロナ禍において人出が激減している。特に夜間時間帯。」(①小山市の人出の状況)
 - ・ 「コロナ前に比べ、お客様の会社の状況が悪くなり、それに伴い、仕事量の落ち込みがある。」(②お客様や取引先の様子)
 - ・ 「コロナの影響であらゆるスポーツ・芸術活動が中止になっている。」(⑤周辺地域の様子、⑥それ以外)

3.1.2. 令和3年下半期(7～12月期)の小山市の景気見通し(質問3,4)

質問3の小山市の景気見通しに関して、令和3年下半期(7～12月期)は上半期と比べ、「良くなる」2.2%、「やや良くなる」43.5%、「変わらない」39.1%、「やや悪くなる」13.0%、「悪くなる」2.2%となった(図表3-4, 3-5)。前回、前々回と比べ「やや良くなる」の割合が大きく上昇した。一方で、「やや悪くなる」、「悪くなる」の割合は下落した。前回調査(令和2年12月)と比べ、

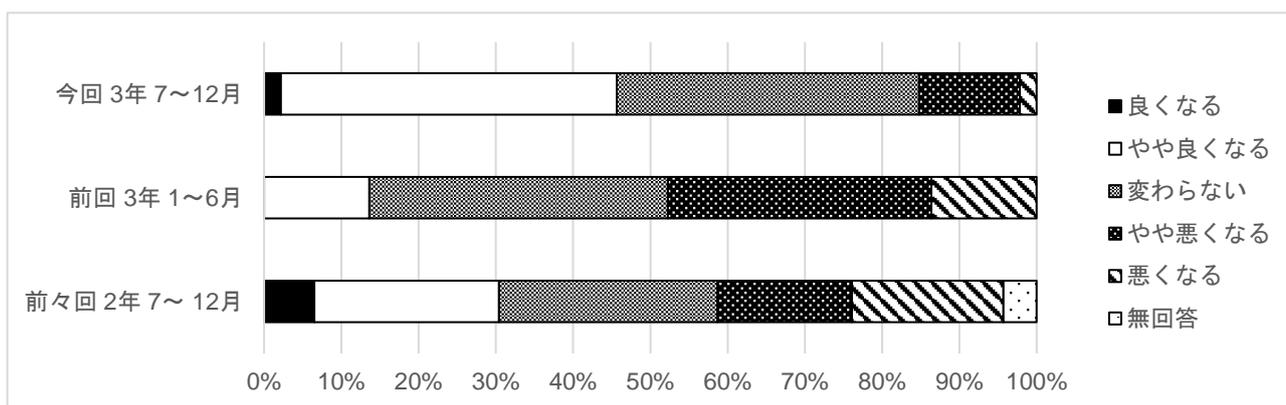
- ・ 3%ポイント以上増加: 「やや良くなる」(+29.9)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「やや悪くなる」(-21.1)、「悪くなる」(-11.4)

となった。DIで見ると57.6%と前回(38.1%)から大きく改善し、平成30年下半期(7～12月期)の調査以来50%を上回った。

質問3の回答理由(質問4)では、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことへの期待から、景気回復を見込む予測がみられた。

質問3: 令和3年下半期(7～12月期)の小山市の景気見通し

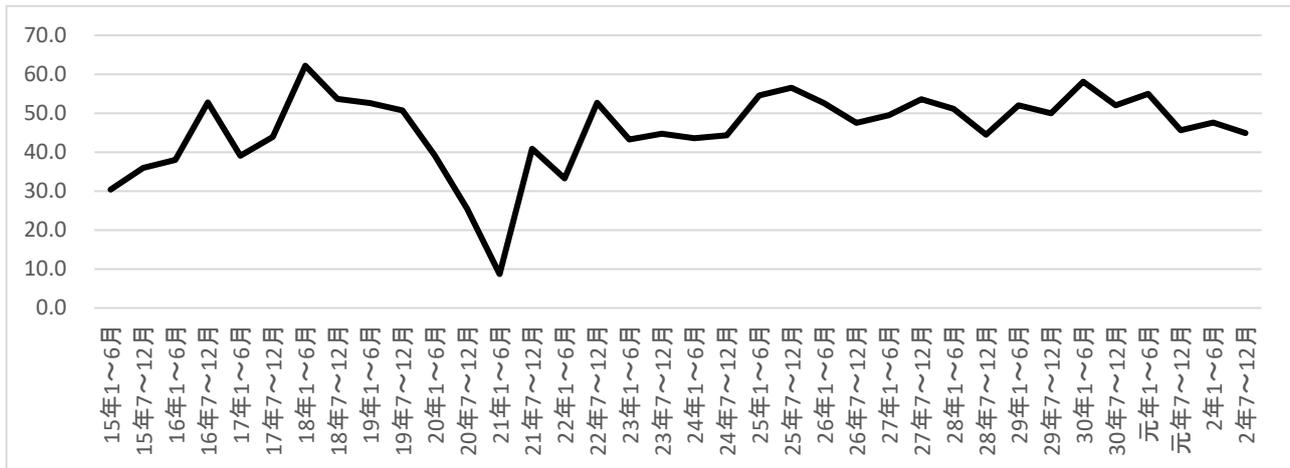
図表 3-4 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



(%)

見通しの対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	DI
今回 3年 7～12月	2.2	43.5	39.1	13.0	2.2	0.0	57.6
前回 3年 1～6月	0.0	13.6	38.6	34.1	13.6	0.0	38.1
前々回 2年 7～12月	6.5	23.9	28.3	17.4	19.6	4.3	44.9

図表 3-5 DI の推移(%)



質問 4: 質問 3 の回答理由

- ◆ 良くなる
 - ・ 「下半期は小山市内でもワクチン接種が進み、これまで家で過ごしてきた慎重派も消費意欲を上げることが見込まれるため。」
- ◆ やや良くなる
 - ・ 「ワクチン接種が進み、人流が活発になり消費が増加すると思う」
 - ・ 「コロナワクチン接種等による多少の回復見込みあり」
- ◆ 変わらない
 - ・ 「コロナ影響の業種・業態が固定化しているのか、当分は変化がないと思われる。」
 - ・ 「コロナワクチンの接種がもっと進まないは無理」
- ◆ やや悪くなる
 - ・ 「コロナ感染が終息しない為」
 - ・ 「オリンピックがあってもコロナの改善にはつながらないので」

など

3.2. 小山市における業界の景気

質問 5 から質問 14 までは、小山市における回答企業・店舗の業界景気動向をたずねた。以下その結果を述べる。

3.2.1. 業界の小山市での売上げ(質問 5, 6-1, 6-2)

業界の小山市での売上げについて、令和 3 年上半期(1~6 月期)は「増加した」0.0%、「やや増加した」23.9%、「変わらない」37.0%、「やや減少した」30.4%、「減少した」8.7%となった(図表 3-6, 3-7)。前回、前々回と比べ「減少した」の割合が大きく下落した。前回調査(令和 2 年 12 月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「やや増加した」(+3.4)、「変わらない」(+5.2)、「やや減少した」(+7.7)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「減少した」(-14.0)、

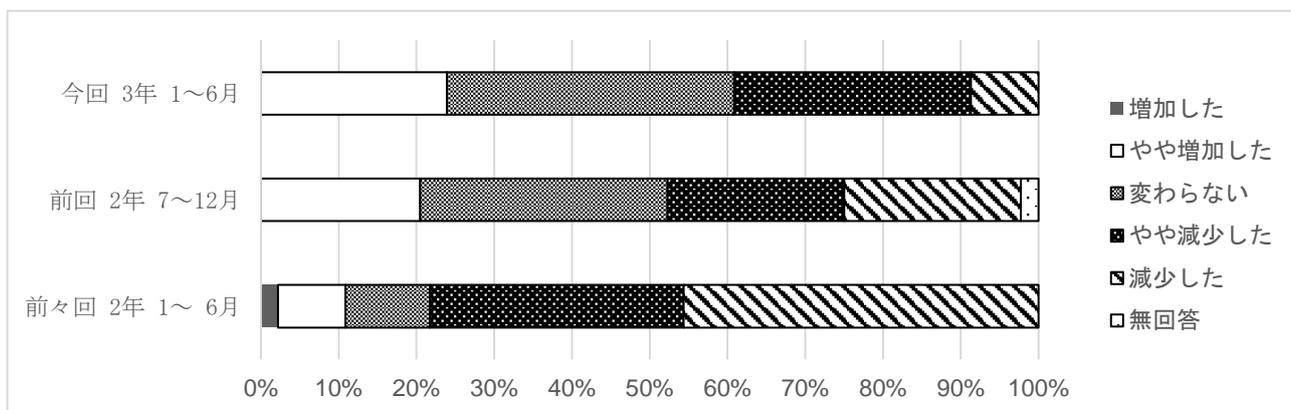
となった。DI でみると 44.0%と前回(37.8%)、前々回(22.3%)から回復傾向にあるが、5 期連続で 50%を下回った。

質問 5 の回答の理由(質問 6-1)についてみると、家計向け取引の場合、「無回答」を除いて、「来客数の動き」(23.9%)、「お客様の様子」(17.4%)、「販売量の動き」(13.0%)が上位三位までの理由だった(図表 3-8)。企業向け取引の場合、「無回答」を除いて、「受注量や販売量の動き」(39.1%)、「取引先の様子」(28.3%)、「受注価格や販売価格の動き」(8.7%)が上位三位までの理由だった(図表 3-9)。

質問 6-1 の具体的な回答内容(質問 6-2)では家計向け取引、企業向け取引のいずれでも、新型コロナウイルス感染症の流行に関する回答が多く見られた。

質問 5: 業界の小山市での売上げ(売上金額の増減)

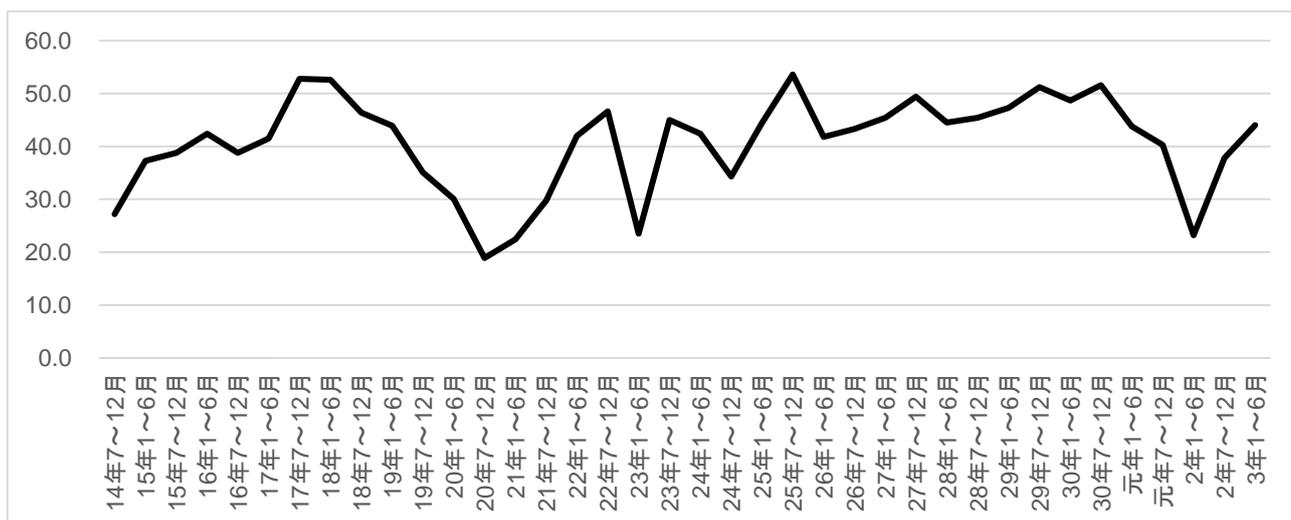
図表 3-6 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



(%)

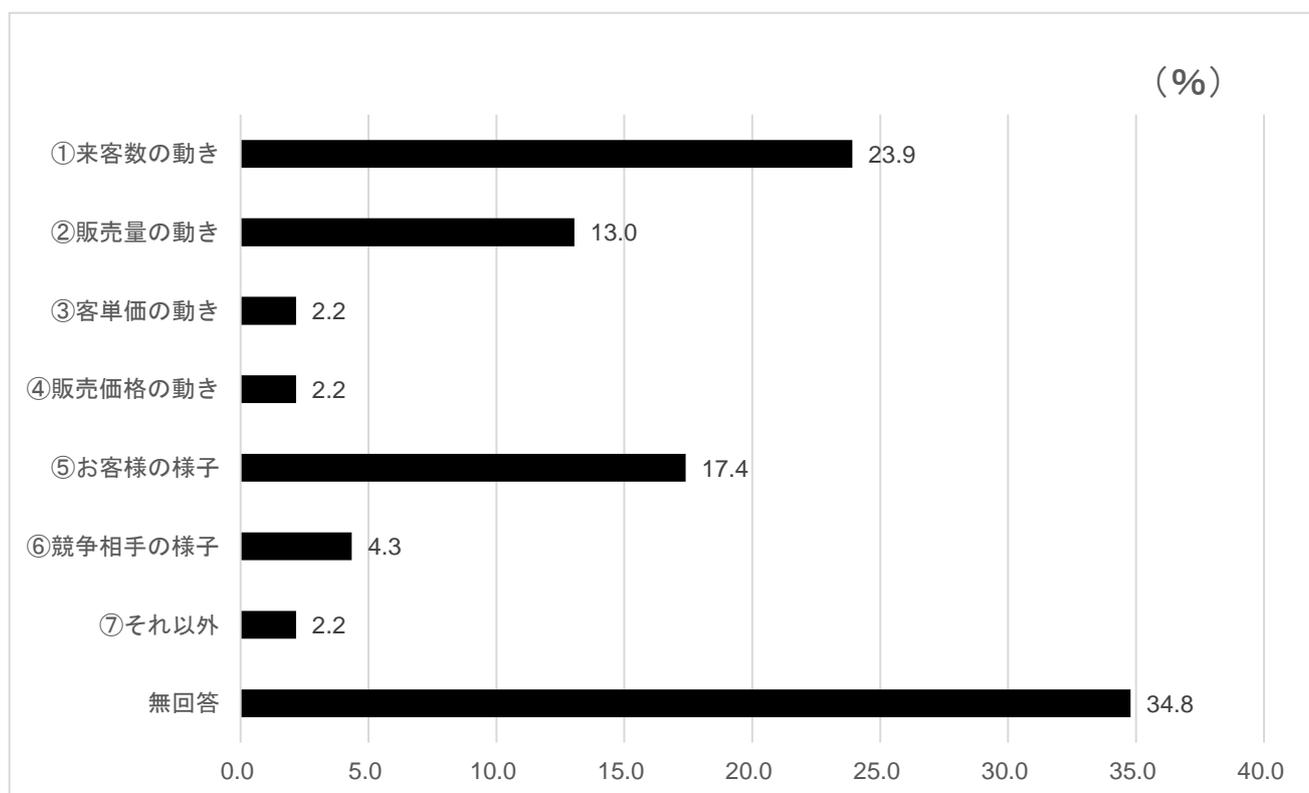
	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	無回答	DI
今回 3年 1~6月	0.0	23.9	37.0	30.4	8.7	0.0	44.0
前回 2年 7~12月	0.0	20.5	31.8	22.7	22.7	2.3	37.8
前々回 2年 1~6月	2.2	8.7	10.9	32.6	45.7	0.0	22.3

図表 3-7 DI の推移(%)



質問 6-1: 質問 5 の回答理由(家計消費向け取引)

図表 3-8 質問 5 と質問 6-1(家計消費向け取引)のクロス集計



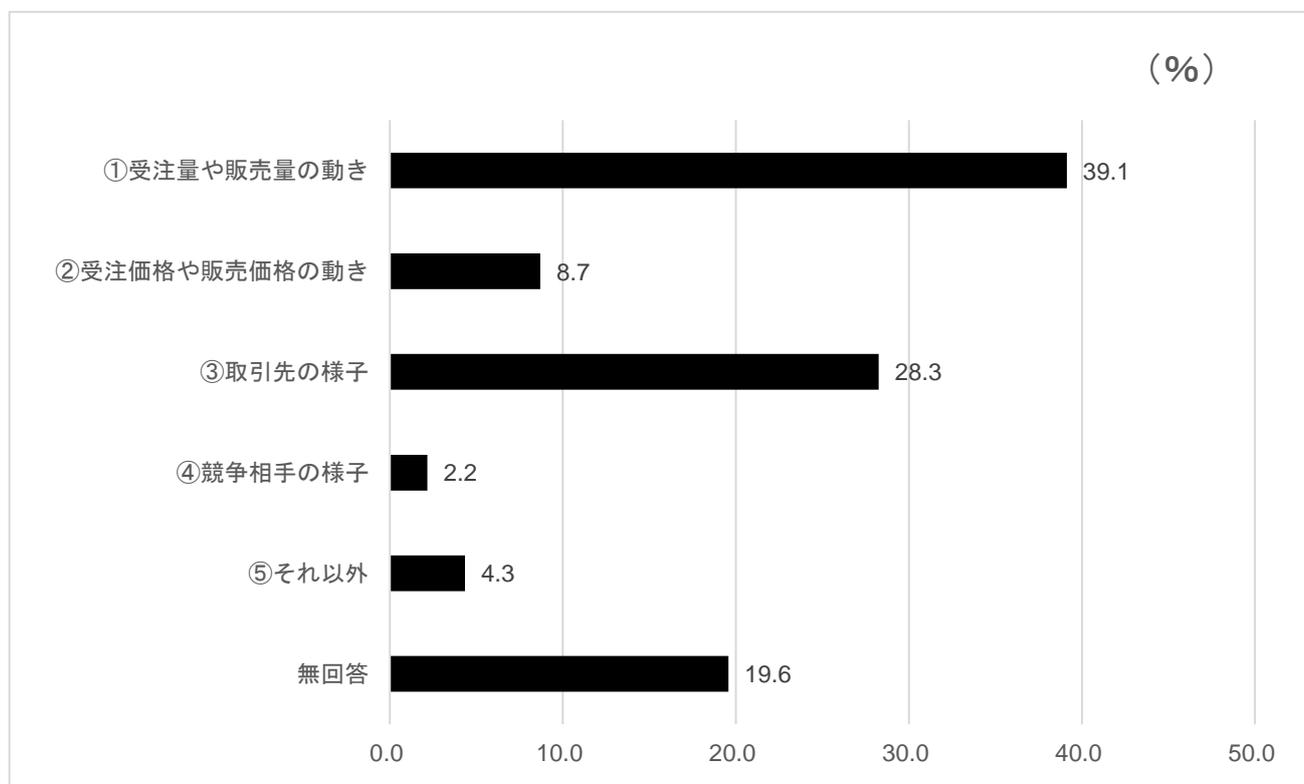
		(%)							
質問 6-1	質問 5	①来客数の動き	②販売量の動き	③客単価の動き	④販売価格の動き	⑤お客様の様子	⑥競争相手の様子	⑦それ以外	無回答
増加した		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや増加した		6.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
変わらない		8.7	4.3	0.0	0.0	8.7	2.2	2.2	10.9
やや減少した		6.5	4.3	2.2	2.2	6.5	2.2	0.0	6.5
減少した		2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	4.3
無回答		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		23.9	13.0	2.2	2.2	17.4	4.3	2.2	34.8

(注)無回答には家計向け取引のない企業(店舗)が含まれる。

46社に対する比率。

質問 6-1: 質問 5 の回答理由(企業消費向け取引)

図表 3-9 質問 5 と質問 6-1(企業消費向け取引)のクロス集計



質問 6-1	①受注量 や販売量	②受注価格 や販売価格	③取引先 の様子	④競争相手 の様子	⑤それ以外	無回答
増加した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや増加した	13.0	2.2	2.2	0.0	0.0	6.5
変わらない	8.7	4.3	15.2	0.0	4.3	6.5
やや減少した	10.9	2.2	8.7	2.2	0.0	6.5
減少した	6.5	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	39.1	8.7	28.3	2.2	4.3	19.6

(注)無回答には企業向け取引のない企業(店舗)が含まれる。

46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 6-2: 具体的な回答(家計消費向け取引)

- ◆ やや増加した
 - ・ 「新型コロナウイルスの影響で在宅率が上がり、戸建志向が高まり売上げが伸びております。」(不動産・住宅業)
 - ・ 「徐々にではあるが来客・売上ともに増加しているため」(サービス業)
- ◆ 変わらない
 - ・ 「新型コロナウイルス感染症により、2020年3月から現在まで、1年以上に亘り出張や会食の自粛が長期化しているため、年間を通してとても厳しい状況である。」(ホテル・旅館業)
 - ・ 「コロナにより来客数は激減しています。今もコロナ前には全然戻っていません。」(飲食業)
- ◆ やや減少した
 - ・ 「20年度下半期には COVID-19 対策関連商材が売上げを伸ばしたが、21年度上半期には沈静化した。」(流通業(小売業))
 - ・ 「常連客の来店間隔が長くなった」(飲食業)
- ◆ 減少した
 - ・ 「経済の減少が大きい」(運輸業)
など

質問 6-2: 具体的な回答(企業消費向け取引)

- ◆ やや増加した
 - ・ 「売上の前年同月比を毎月出しているが、多少+になってきている」(運輸業)
 - ・ 「前半はコロナで停滞していたが、後半は昨年並みで推移したため」(製造業)
- ◆ 変わらない
 - ・ 「2020年下半期と比べてさして回復したとは言えない。足踏み状態である。」(製造業)
 - ・ 「自動車販売台数の昨対比が横ばい」(流通業(小売業))
- ◆ やや減少した
 - ・ 「コロナの影響で顧客の設備投資の抑制の動きがあるため、今後は戻る見込み」(製造業)
 - ・ 「成約まで至らない」(サービス業)
- ◆ 減少した
 - ・ 「受注量は変わっていないが、計画が遅れており、販売量が伸びていない」(製造業)
など

3.2.2. 業界の小山市での売上見通し(質問 7, 8)

業界の小山市での売上見通しに関して、令和3年下半期(7～12月期)は上半期と比べ、「増加する」0.0%、「やや増加する」34.8%、「変わらない」43.5%、「やや減少する」15.2%、「減少する」4.3%となった(図表 3-10, 3-11)。前回と比べ「やや増加する」の割合が大きく上昇し、「やや減少する」、「減少する」の割合が大きく下落した。前回調査(令和2年12月)と比べ、

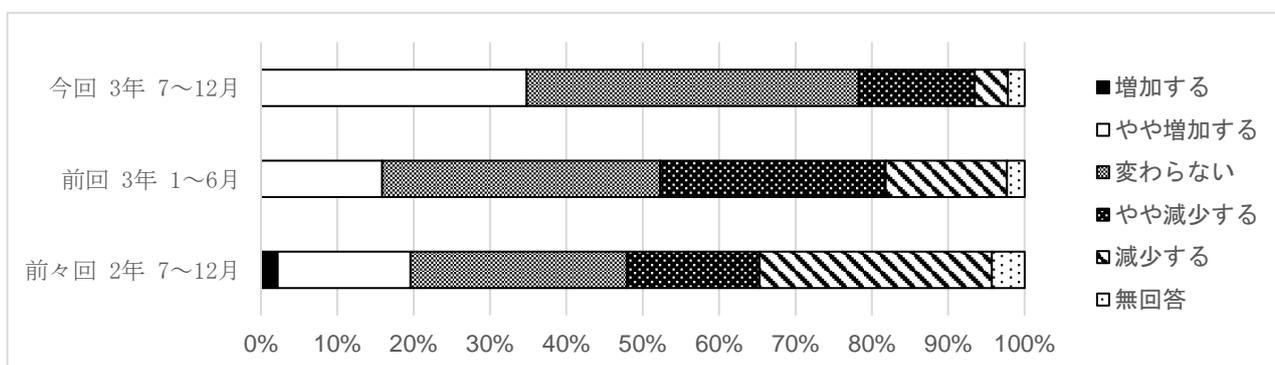
- ・ 3%ポイント以上増加: 「やや増加する」(+18.9)、「変わらない」(+7.1)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「やや減少する」(-14.3)、「減少する」(-11.6)

となった。DI でみると 52.8%と横ばいだった前回(38.4%)、前々回(35.2%)から急上昇し、令和元年上半期(1～6月期)以来 50%を上回った。

質問7の回答の理由(質問8)についてみると、ワクチン接種の進むことへの期待や、オリンピック効果への期待が挙げられていた。

質問 7: 業界の小山市での売上見通し

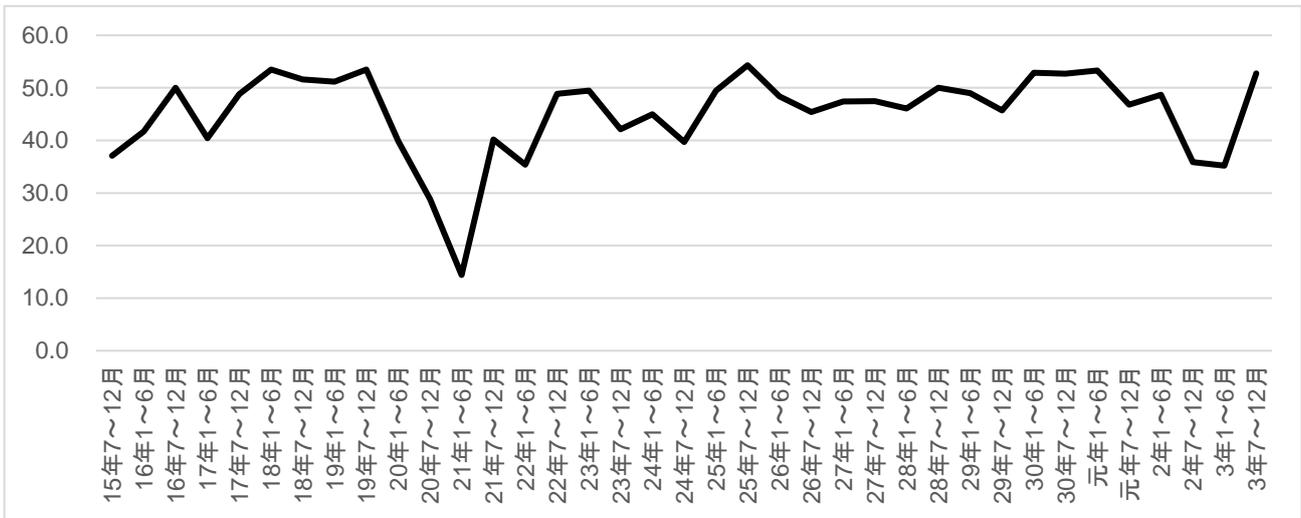
図表 3-10 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



(%)

見通しの対象時期	増加する	やや増加する	変わらない	やや減少する	減少する	無回答	DI
今回 3年 7～12月	0.0	34.8	43.5	15.2	4.3	2.2	52.8
前回 3年 1～6月	0.0	15.9	36.4	29.5	15.9	2.3	38.4
前々回 2年 7～12月	2.2	17.4	28.3	17.4	30.4	4.3	35.2

図表 3-11 DI の推移(%)



質問 8: 質問 7 の回答理由

- ◆ やや増加する
 - ・ 「新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、本年の 9 月以降接種率が 40%を超えて来るものと予測されるので、出張や会食の需要が動き出すものと考えられるため。」(ホテル・旅館業)
 - ・ 「ワクチン接種が進み人出が増加すると思われる。オリンピック効果が出る。」(運輸業)
- ◆ 変わらない
 - ・ 「コロナの影響で落ち込んだ売上が回復する時期は、次年度以降と見込んでいるため」(製造業)
 - ・ 「政策的に変わらないため」(金融・保険業)
- ◆ やや減少する
 - ・ 「プラス材料が見当たらない為」(製造業)
 - ・ 「コロナによって生活様式が変わってしまったため」(流通業(小売業))
- ◆ 減少する
 - ・ 「業績のよい客先が少ないため受注量が少なくなる」(製造業)
など

3.2.3. 令和3年下半期(7～12月期)の販売価格見通し(質問9)

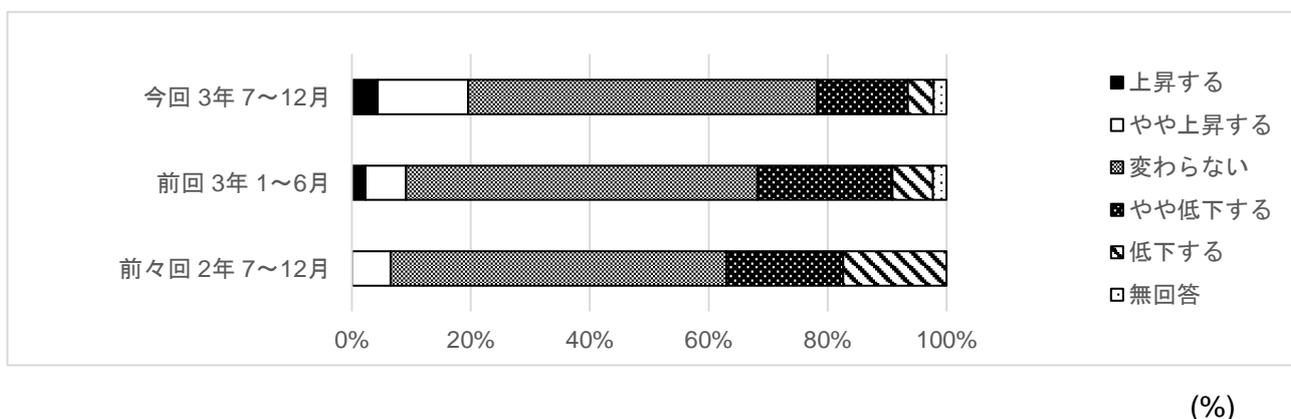
販売価格見通しについて、令和3年下半期(7～12月期)は上半期と比べ、「上昇する」4.3%、「やや上昇する」15.2%、「変わらない」58.7%、「やや低下する」15.2%、「低下する」4.3%となった(図表3-12, 3-13)。前回、前々回と比べ「やや上昇する」の割合が上昇し、「やや低下する」の割合が低下した。前回調査(令和2年12月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「やや上昇する」(+8.4)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「やや低下する」(-7.5)

となった。DIで見ると50.0%と、前回(43.6%)、前々回(38.0%)から回復傾向にあり、平成29年下半期(7～12月期)の調査以来50%を回復した。

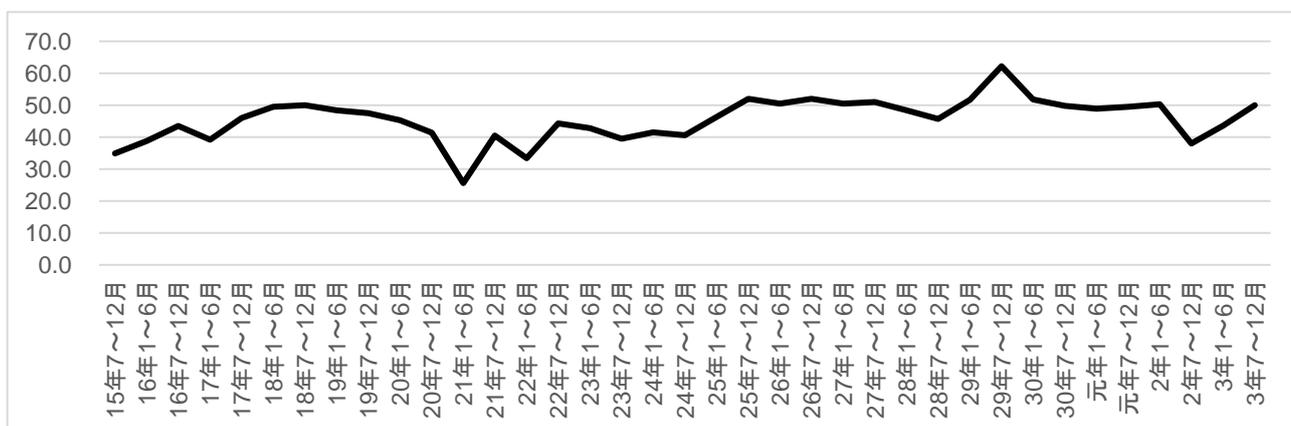
質問9: 令和3年下半期(7～12月期)の販売価格見通し

図表 3-12 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



見通しの対象時期	上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	DI
今回 3年 7～12月	4.3	15.2	58.7	15.2	4.3	2.2	50.0
前回 3年 1～6月	2.3	6.8	59.1	22.7	6.8	2.3	43.6
前々回 2年 7～12月	0.0	6.5	56.5	19.6	17.4	0.0	38.0

図表 3-13 DIの推移(%)



3.2.4. 令和3年下半期(7～12月期)の雇用見通し(質問10)

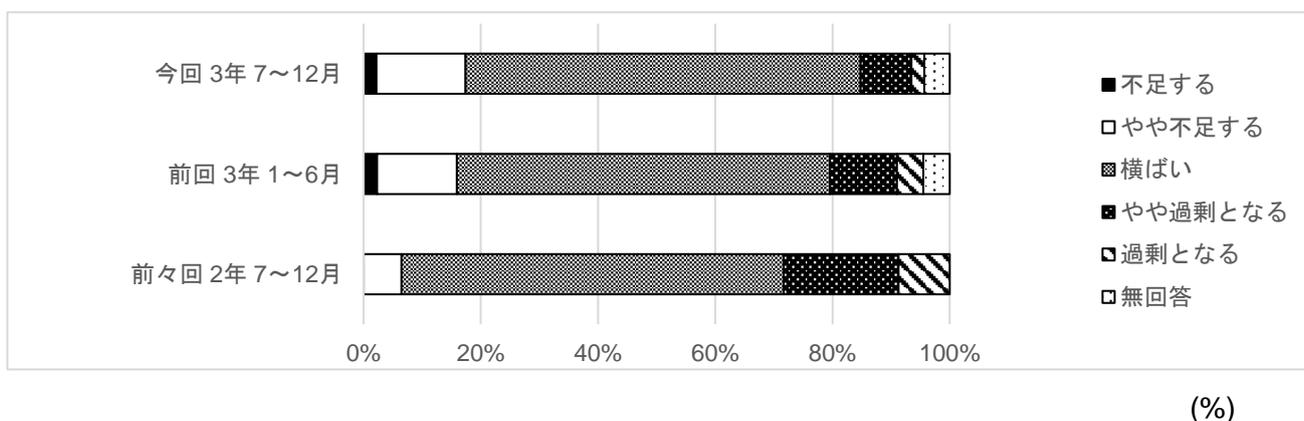
質問10の雇用見通しに関して、令和3年下半期(7～12月期)は上半期と比べ、「不足する」2.2%、「やや不足する」15.2%、「横ばい」67.4%、「やや過剰となる」8.7%、「過剰となる」2.2%となった(図表3-14、3-15)。前回、前々回と比べ「横ばい」の割合が上昇した。前回調査(令和2年12月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「横ばい」(+3.8)
- ・ 3%ポイント以上減少: なし

となった。DIで見ると51.7%と、前回(49.4%)と横ばいではあるものの、3期ぶりに50%を上回った。

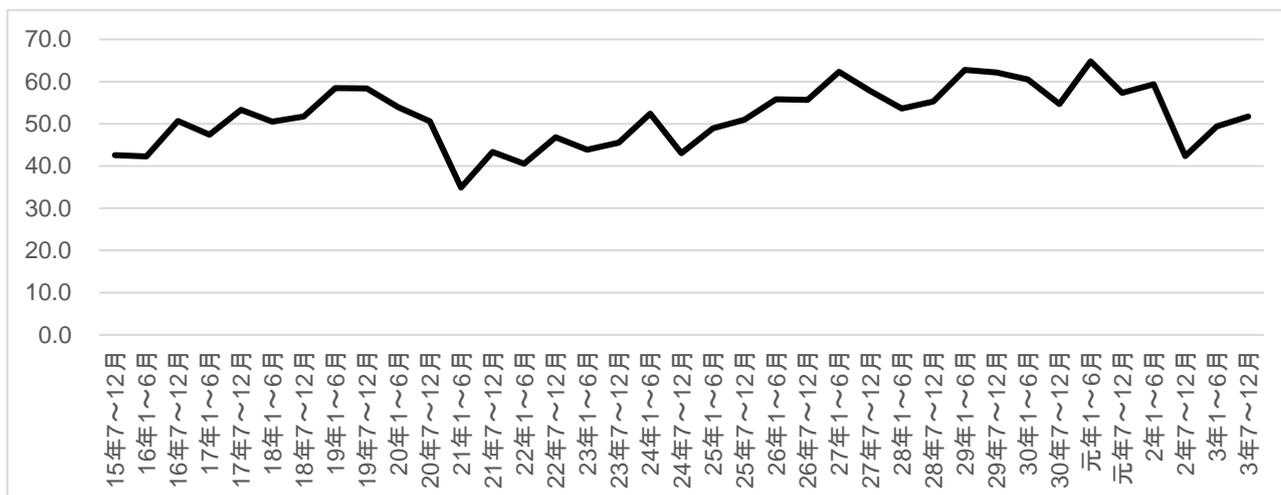
質問10: 令和3年下半期(7～12月期)の雇用見通し

図表 3-14 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



見通しの対象時期	不足する	やや不足する	横ばい	やや過剰となる	過剰となる	無回答	DI
今回 3年 7～12月	2.2	15.2	67.4	8.7	2.2	4.3	51.7
前回 3年 1～6月	2.3	13.6	63.6	11.4	4.5	4.5	49.4
前々回 2年 7～12月	0.0	6.5	65.2	19.6	8.7	0.0	42.4

図表 3-15 DIの推移(%)



3.2.5. 令和3年上半期(1～6月期)の資金繰りの状況(質問11, 12)

質問11の資金繰りの状況に関して、令和3年上半期(1～6月期)は、「改善した」2.2%、「やや改善した」19.6%、「どちらともいえない」56.5%、「やや悪化した」15.2%、「悪化した」6.5%となった(図表3-16, 3-17)。前回、前々回と比べ「どちらともいえない」の割合が上昇し、「やや悪化した」の割合が低下した。前回調査(令和2年12月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「どちらともいえない」(+4.2)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「やや悪化した」(-3.0)

となった。DIで見ると48.9%と、前回(45.3%)、前々回(39.8%)から回復傾向にあるものの、4期連続で50%を下回った。

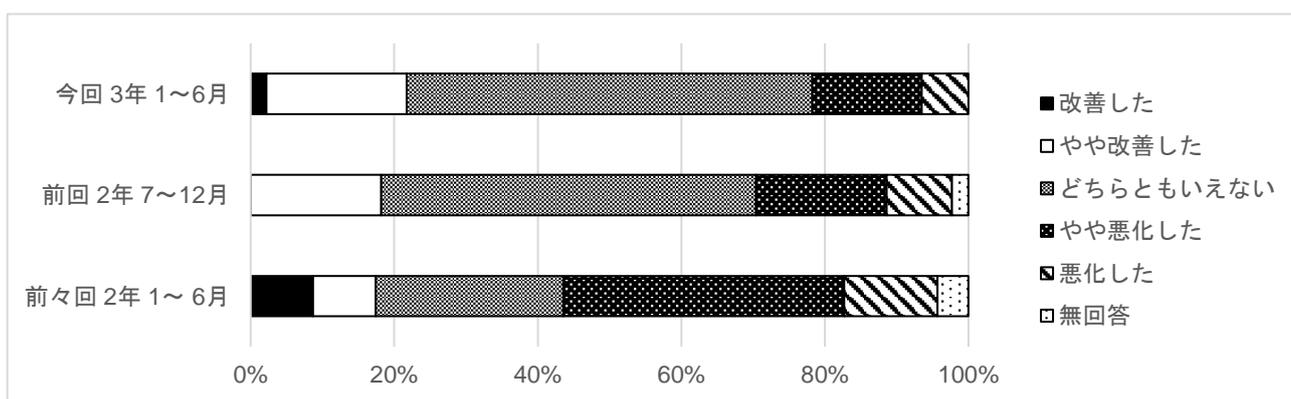
質問11の回答の理由(質問12)についてみると、「売上高の変化」(47.8%)、「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」(21.7%)、「その他」(13.0%)が上位三位までの理由だった(図表3-18)。以下でみるように、前回調査から、「売上高の変化」の割合が大きく下がり、「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」の割合が大きく上がった。前回調査(令和2年12月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」(+19.4%)、
「金融政策、金利の変化」(+4.2%)、「その他」(+6.2%)
- ・ 3%ポイント以上減少: 「売上高の変化」(-13.6%)、「金融機関の貸出態度の変化」(-9.2%)、
「無回答」(-7.3%)

となった。

質問11: 令和3年上半期(1～6月期)の資金繰りの状況

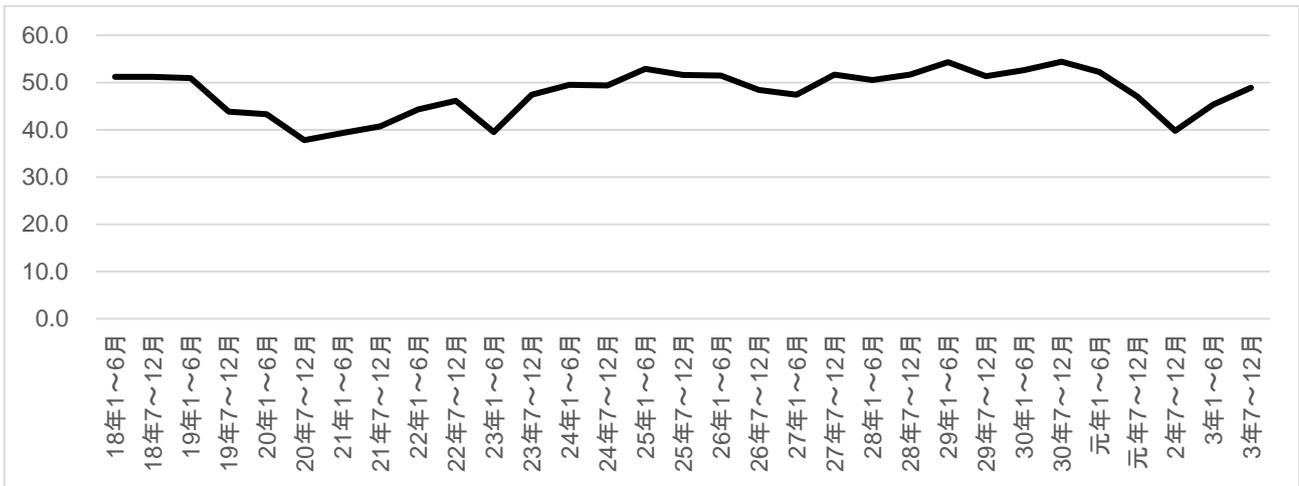
図表 3-16 回答の割合とDI(前回、前々回との比較を含む)



(%)

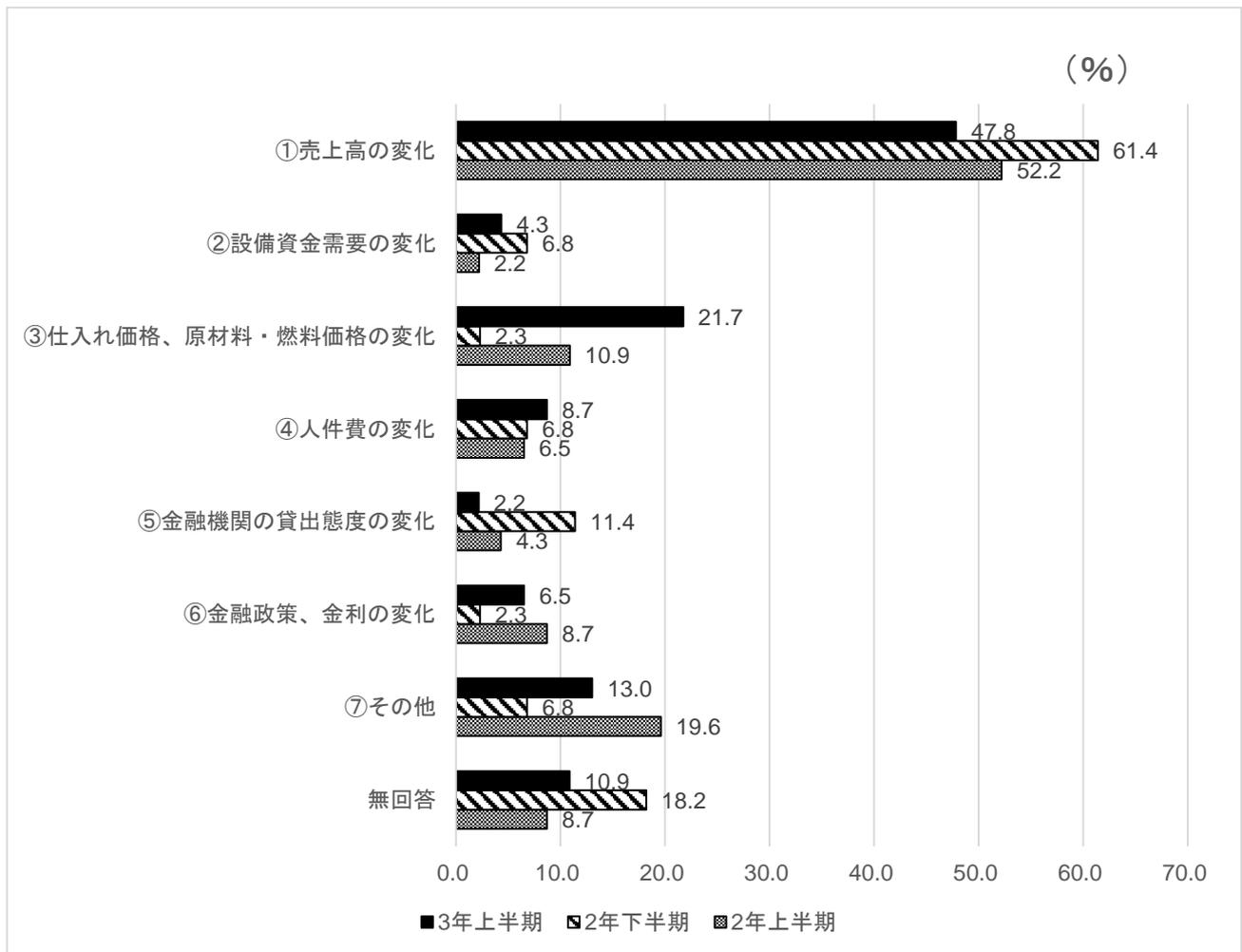
	改善した	やや改善した	どちらともいえない	やや悪化した	悪化した	無回答	DI
今回 3年 1～6月	2.2	19.6	56.5	15.2	6.5	0.0	48.9
前回 2年 7～12月	0.0	18.2	52.3	18.2	9.1	2.3	45.3
前々回 2年 1～6月	8.7	8.7	26.1	39.1	13.0	4.3	39.8

図表 3-17 DI の推移(%)



質問 12: 質問 11 の回答理由

図表 3-18 回答の割合(前回、前々回との比較を含む)



質問 11	質問 12 (%)							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答
改善した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
やや改善した	10.9	0.0	4.3	6.5	0.0	0.0	2.2	0.0
どちらともいえない	21.7	4.3	15.2	2.2	0.0	2.2	8.7	8.7
やや悪化した	13.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
悪化した	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	2.2	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	47.8	4.3	21.7	8.7	2.2	6.5	13.0	10.9

(注) 46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

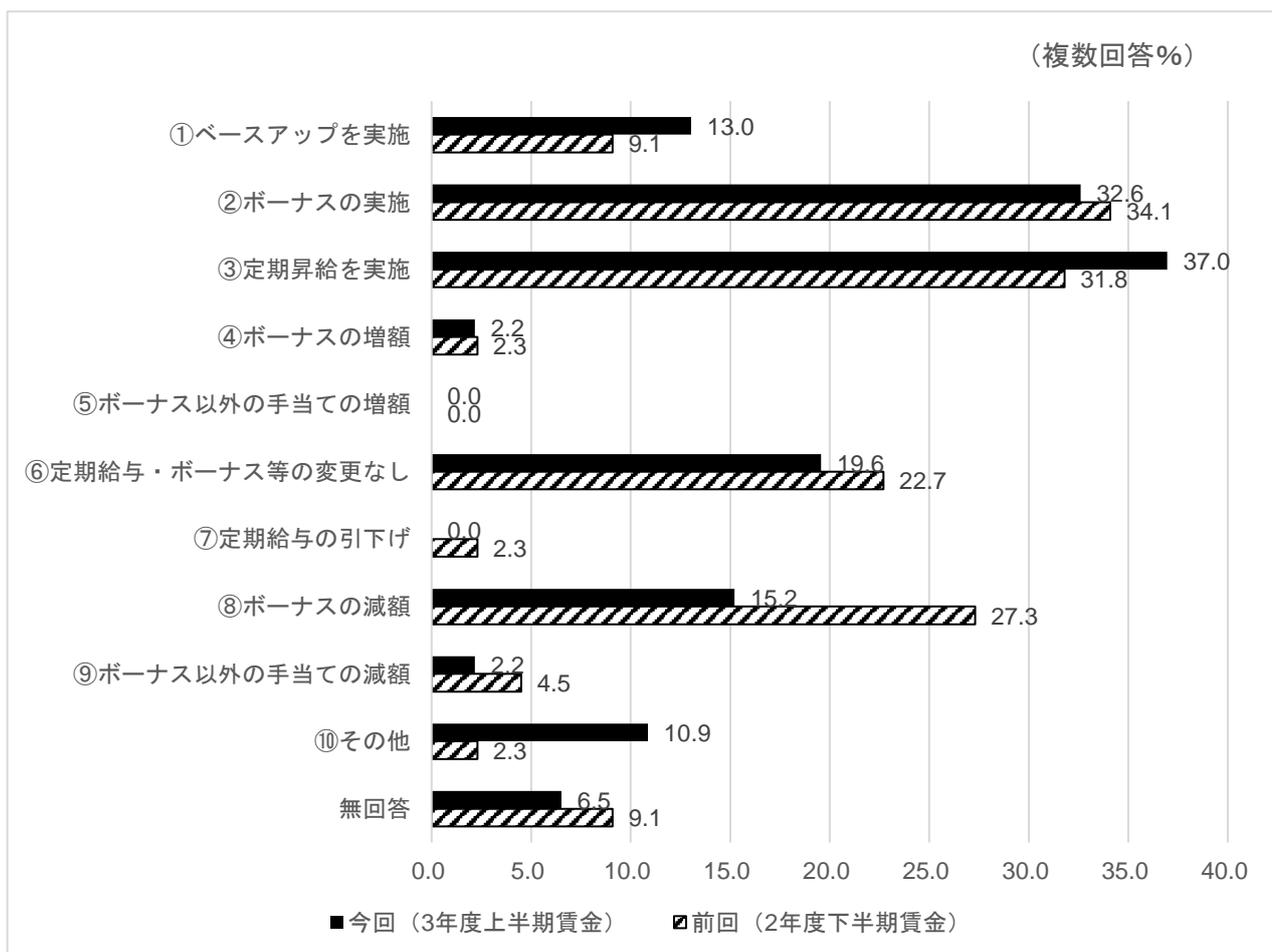
3.2.6. 令和3年度の賃金等の状況(質問 13, 14)

前回調査(令和2年12月)と比べ、

- ・ 3%ポイント以上増加: 「ベースアップを実施」(+3.9%)、「定期昇給を実施」(+5.2%)、「その他」(+8.6%)
 - ・ 3%ポイント以上減少: 「定期給与・ボーナス等の変更なし」(-3.1%)、「ボーナスの減額」(-12.1%)
- となった(図表 3-19)。

質問 13: 令和3年度の賃金等の状況

図表 3-19 回答の割合(前期との比較を含む)



質問 14: 質問 13 の回答理由

- ◆ ①ベースアップを実施
 - ・ 「モチベーションアップ」
- ◆ ②ボーナスの実施
 - ・ 「売上げは全社的に回復しており、通常通りのボーナスを支給されている。」
- ◆ ③定期昇給を実施
 - ・ 「良い人材の確保のため」
 - ・ 「コロナ禍にも関わらず、働いてくれているので」
- ◆ ⑥定期給与・ボーナス等の変更なし
 - ・ 「厳しいながらも現状維持」
- ◆ ⑧ボーナスの減額
 - ・ 「時短営業や営業自粛を行い、社員の雇用調整を実施しているため、社員の实労働日数の減少と、売上高が激減している状況からボーナスの支給を減額した。」
 - ・ 「コロナ禍前に比べ売上げが 30～40%減少しているため」
- ◆ ①ベースアップを実施、②ボーナスの実施、③定期昇給を実施
 - ・ 「2020 年度は好調で予算を上回ったため」
- ◆ ①ベースアップを実施、②ボーナスの実施、③定期昇給を実施、⑨ボーナス以外の手当の減額
 - ・ 「ベース、定期昇給は例年通り・給与体系見直しによる手当減額実施予定」
- ◆ ②ボーナスの実施、③定期昇給を実施
 - ・ 「定期昇給は最低ライン、賞与は前年 12 月に見送ったので、今 7 月は最低限で実施予定」
 - ・ 「これまで通り、業種連動型でボーナス支給しましたし、定期昇給も実施してきている。」
- ◆ ②ボーナスの実施、⑧ボーナスの減額
 - ・ 「売上の減少」
- ◆ ⑩その他
 - ・ 「売上が減る中、現状維持がいっぱい입니다。」
 - ・ 「給与規定の一定のルールに基づいての支給となります。」など

3.3. 昨今の社会・経済情勢に関する質問

質問 15 から質問 17 までは、小山市における昨今の社会・経済情勢に関する質問を行った。以下その結果を述べる。

3.3.1. 新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)の影響

質問 15(質問 15-1～15-3)、質問 16 では新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)の影響とその理由についてたずねた。それぞれ、供給面(質問 15-1)、営業・勤務形態等(質問 15-2)、需要面(質問 15-3)の影響に分けて質問を行った。

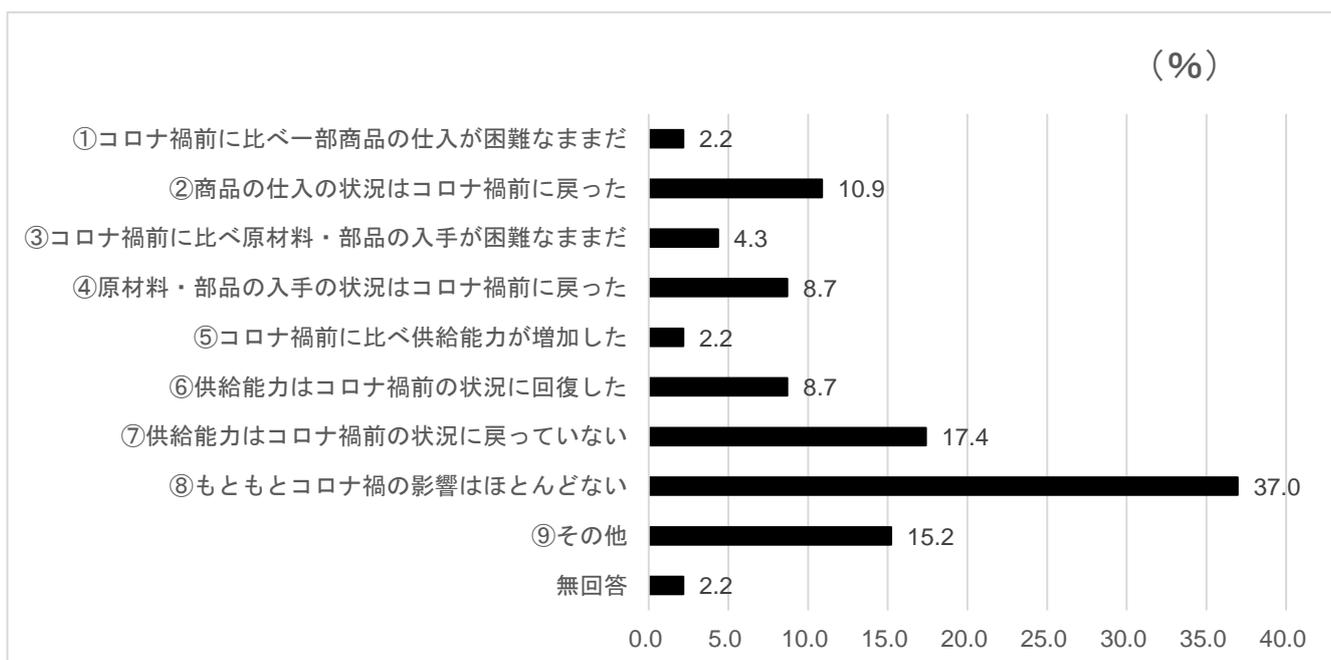
その結果(複数回答可)をみると、まず、供給面(質問 15-1)では、「もともとコロナ禍の影響はほとんどない」(37.0%)、「供給能力はコロナ禍前の状態に戻っていない」(17.4%)、「その他」(15.2%)が上位三位までの理由だった(図表 3-20)。「その他」の理由としては、「建設現場でコロナ感染者が発生し、製品搬入が一時ストップした」などが挙げられていた。

次に、営業・勤務形態等(質問 15-2)では、「もともとコロナ禍の影響はほとんどない」(23.9%)、「コロナ禍前に比べ営業時間の短縮・変更等を余儀なくされたままだ」(19.6%)、「コロナ禍前に比べ従業員の勤務に困難が生じたままだ」(15.2%)が上位三位までの理由だった(図表 3-21)。

最後に、需要面(質問 15-3)では、「コロナ禍前に比べ需要全体が減少した」(52.2%)、「もともとコロナ禍の影響はほとんどない」(13.0%)、「コロナ禍前に比べ一部商品の需要が減少した」(10.9%)、「コロナ禍前に比べ一部商品の需要が増加した」(10.9%)が上位三位までの理由だった(図表 3-22)。

質問 15-1: コロナ禍の影響(供給面)

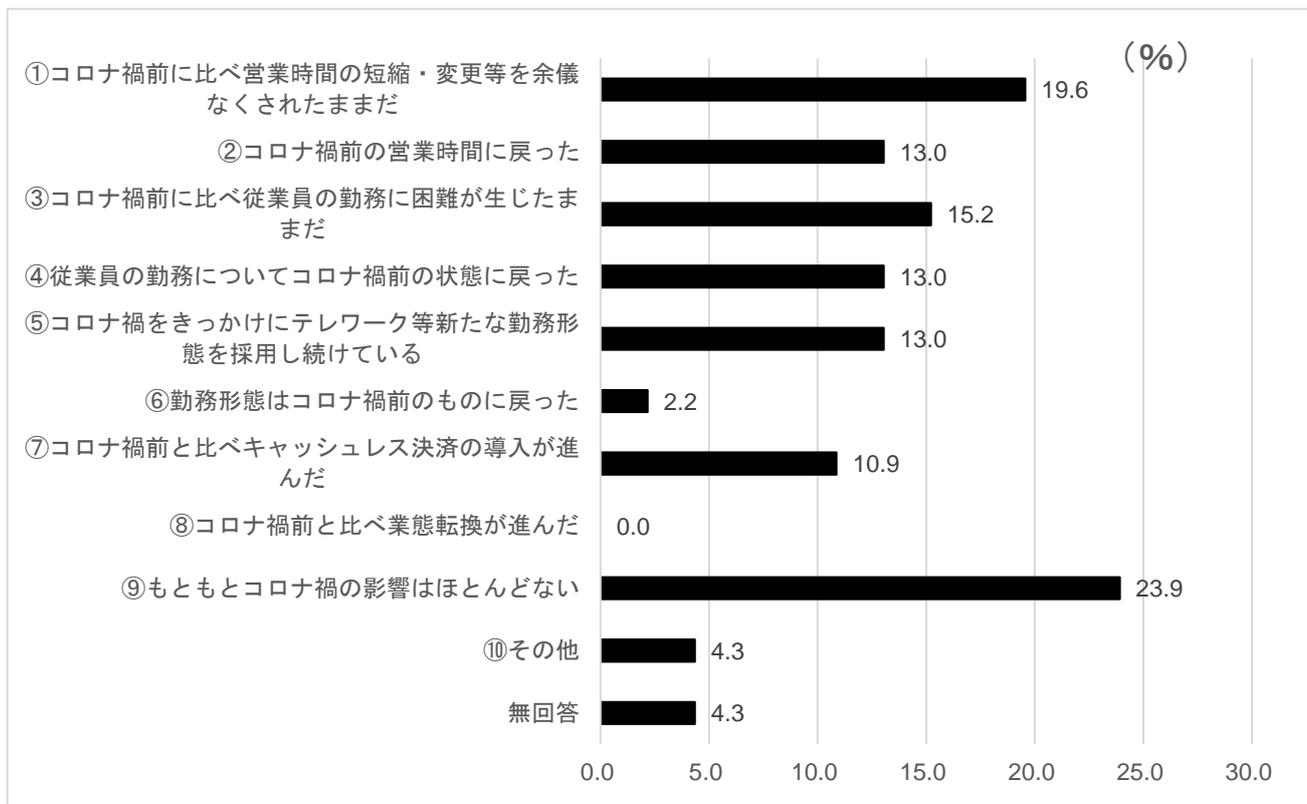
図表 3-20 回答の割合



(注) 46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 15-2: コロナ禍の影響(営業・勤務形態等)

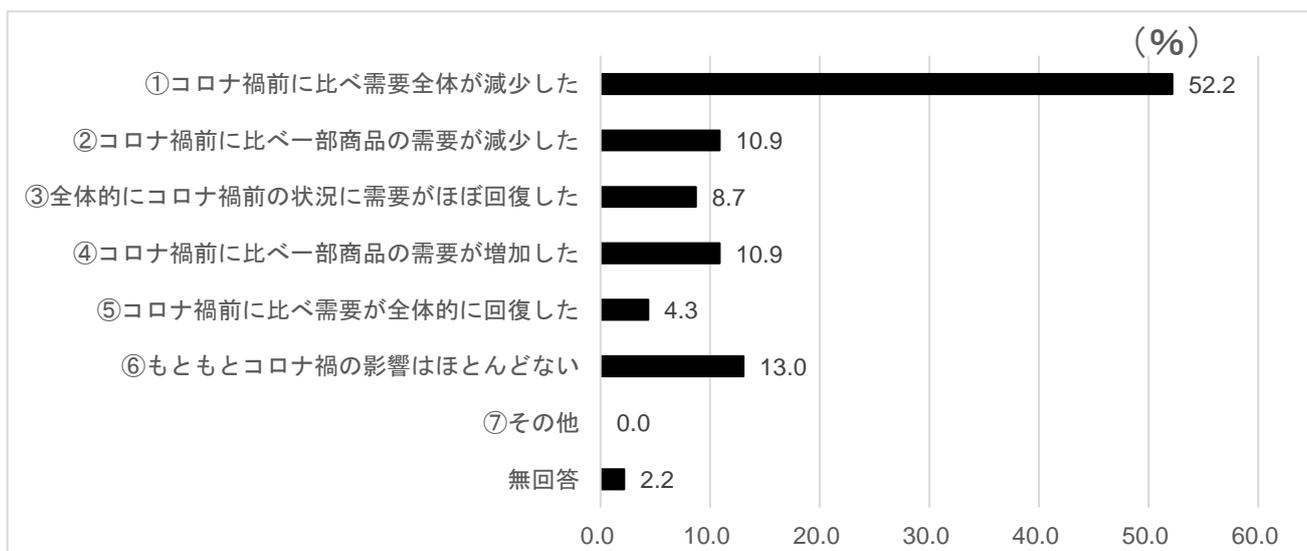
図表 3-21 回答の割合



(注) 46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 15-3: コロナ禍の影響(需要面)

図表 3-22 回答の割合



(注) 46 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 16: 質問 15 の回答理由

- ・ 「売上台数の減少あり」(質問 15-1①、15-2①,⑤,⑦、15-3①)
 - ・ 「在宅率が上がり、戸建志向が高まっているため」(質問 15-1②、15-2⑤、15-3⑤)
 - ・ 「様々な行事、会議などが開催されないため、受注量の減少。」(質問 15-1④、15-2①、15-3①)
 - ・ 「出張の自粛や会食の自粛により需要が激減した。」(質問 15-1⑦、15-2①,③、15-3①)
 - ・ 「来客数は激減したままですが、お昼のお弁当配達や会社関係の会議用のお弁当の配達などは増えました。」(質問 15-1⑦、15-2③、15-3①,④)
 - ・ 「製造に関してはコロナの影響はほとんどない」(質問 15-1⑧、15-2⑨、15-3①)
 - ・ 「需要が少ない時間帯や曜日に乗務員の出勤数を減らして需要と供給のバランスをとっている。」(質問 15-1⑧、15-2①、15-3①)
 - ・ 「ファッション関連(アパレル)の需要が大きく減」(質問 15-1⑧、15-2④、15-3①)
 - ・ 「パーティションの吸音対策品が増加。その他全体的には減少的」(質問 15-1⑨、15-2⑩、15-3④)
 - ・ 「外資系企業の受注予定が、コロナの影響により凍結された」(質問 15-1⑨、15-2⑨、15-3②)
 - ・ 「必要最低限のものしか購入していない様子」(質問 15-1②,⑥、15-2⑨、15-3②)
 - ・ 「人の流れが大減少してきている」(質問 15-1③,⑦、15-2③、15-3②)
- など

3.3.2. SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)について

質問 17(質問 17-1～17-4)では、最近、日本においても関心が高まっている国連が定めた SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)についてたずねた。それぞれ、SDGs に関する取り組み(質問 17-1)、SDGs に関する情報収集の方法(質問 17-2)、SDGs の 17 の具体的な目標への関心(質問 17-3)、SDGs に関して小山市の政策、広報活動等で期待すること、要望(質問 17-4)を質問した。

まず、質問 17-1 では SDGs に関する取り組みについてたずねた。その回答のうち「①すでに取り組んでいる」、「②取り組む予定である」、「③予定はないが取り組みたい」の割合の合計が 63.0%と過半数を超えるものの、「①すでに取り組んでいる」の割合は 26.1%と、関心はあるものの具体的な取り組みに至れていない状況が観察された(図表 3-23)。

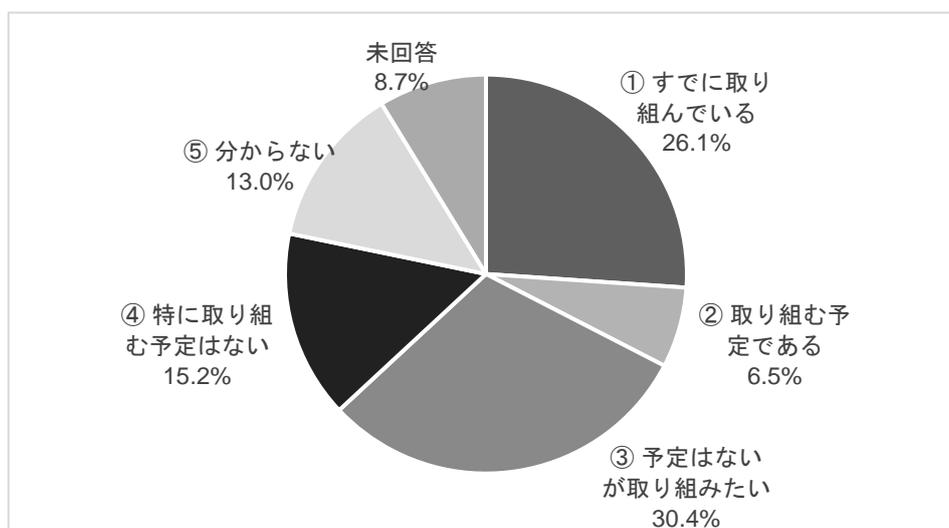
次に、質問 17-1 で、「①すでに取り組んでいる」、「②取り組む予定である」、「③予定はないが取り組みたい」と回答した 29 社に対して質問 17-2 では SDGs に関する情報収集の方法についてたずねた(複数回答可)。その結果は、「新聞」(62.1%)、「テレビ」(55.2%)、「インターネット」(55.2%)が上位三位までの理由だった(図表 3-24)。

質問 17-3 では、SDGs の 17 の具体的な目標のうち、関心があるものを最大 3 点まで選択してもらった(3 点より多く選択した回答は無回答に分類した)。その結果は、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(28.3%)、「働きがいも経済成長も」(21.7%)、「住み続けられるまちづくりを」(21.7%)が上位三位までの理由だった(図表 3-25)。

最後に、質問 17-4 では、SDGs に関して小山市の政策、広報活動等で期待すること、要望をたずねた。「業種ごとに SDGs の目標に対する具体的な取り組みを例示して貰えれば、それが手掛かりとなるので、参加しやすくなります。」、「小山市として渡良瀬遊水地の活動にてすでに取り組んでいるので、認知度を上げてほしい」、「特になし、まだよくわからないため」といった意見があった。

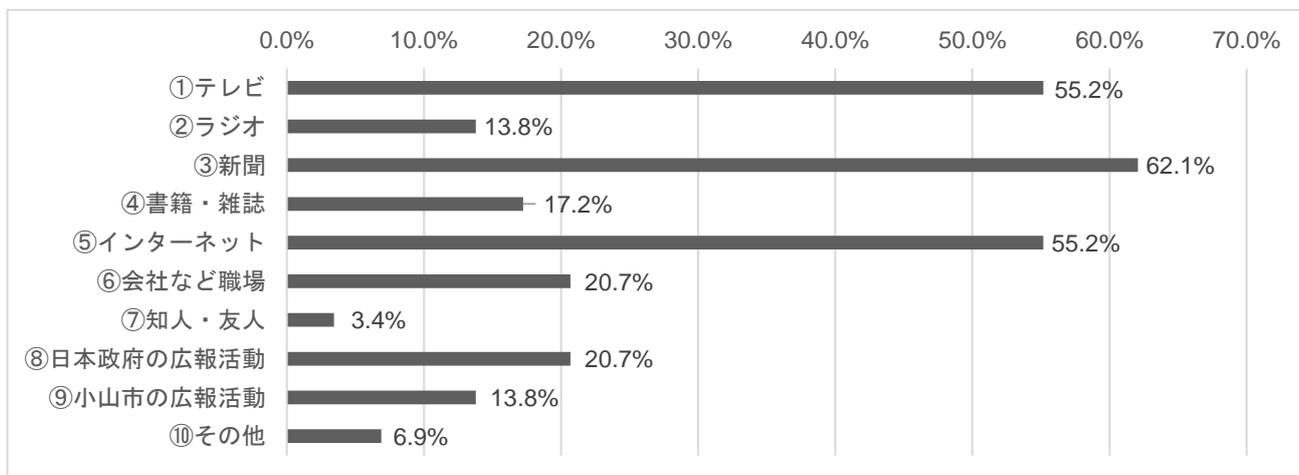
質問 17-1: SDGs に関する取り組み

図表 3-23 回答の割合



質問 17-2: SDGs に関する情報収集の方法

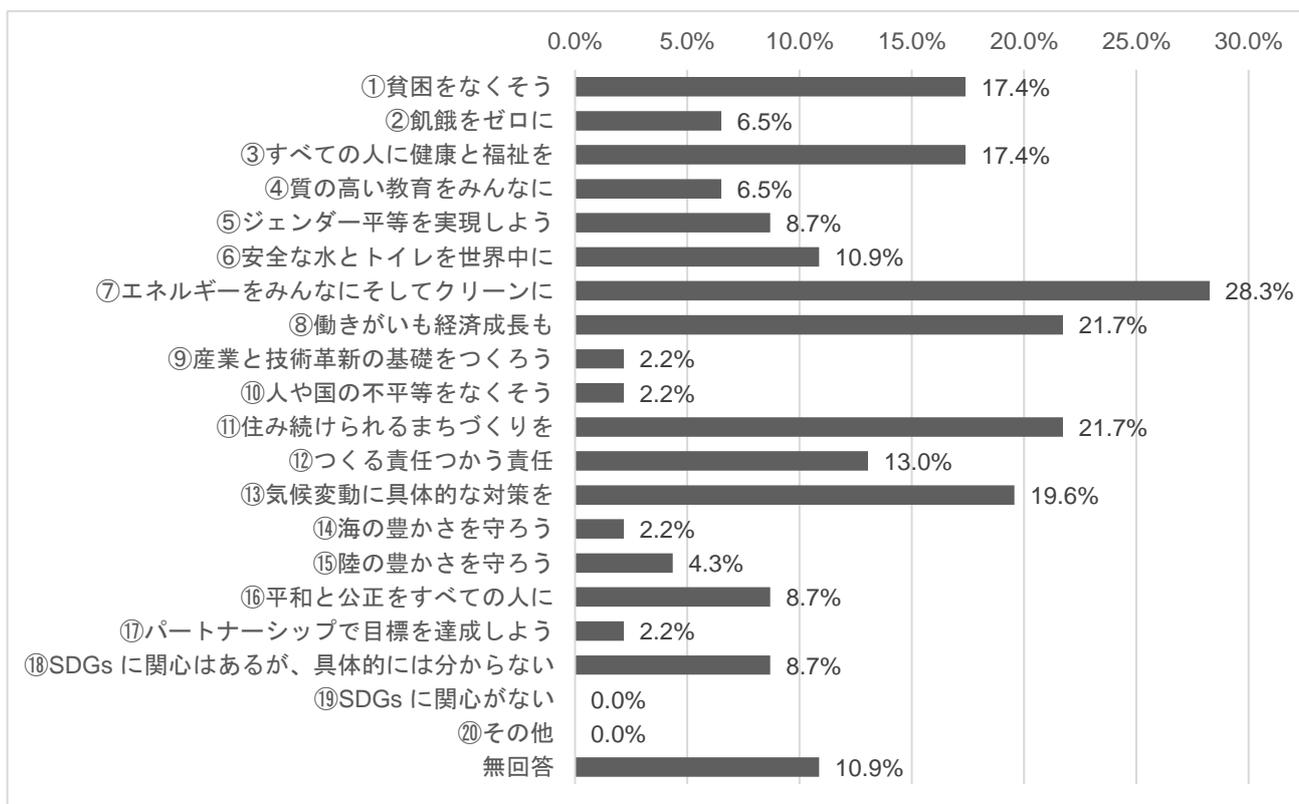
図表 3-24 回答の割合



(注) 質問 17-1 で①、②、③を選択した 29 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

質問 17-3: SDGs の 17 の具体的な目標への関心

図表 3-25 回答の割合



(注) 46 社に対する比率。最大 3 点まで複数回答可であり、合計は 100%にならない。3 点より多く選択した回答は無回答に分類した。

質問 17-4: SDGs に関して小山市の政策、広報活動等で期待すること、要望

- ・ 「各社の取り組みをピックアップして紹介いただきたいです。」(質問 17-1③、17-2①,③,⑤,⑥、17-3⑤,⑦,⑪)
- ・ 「特になし、まだよくわからないため」(質問 17-1④、17-3⑧,⑫,⑬)
- ・ 「業種ごとに SDGs の目標に対する具体的な取り組みを例示して貰えれば、それが手掛かりとなるので、参加しやすくなります。」(質問 17-1③、17-2③、17-3⑪,⑱)
- ・ 「住み続けられるまちづくりに期待したい」(質問 17-1③、17-2①,②,⑤、17-3③,⑧,⑪)
- ・ 「小山市として渡良瀬遊水地の活動にてすでに取り組んでいるので、認知度を上げてほしい」(質問 17-1③、17-2①,⑤、17-3⑫,⑬,⑱)
- ・ 「子供などの若年層への教育・市独自の取り組みを広報誌にのせる。」(質問 17-1①、17-2①,②,③,④、17-3①,⑧,⑪)
など

4. まとめ

最近の日本経済の動きを GDP 速報(2021 年 4-6 月期・1 次速報(2021(令和 3 年)年 8 月 16 日公表))でみると、令和 2 年度の実質 GDP 成長率(平成 23 年暦年連鎖価格)は前年度比-4.5%と大きく下落した。これはリーマン・ショックが起きた平成 20 年度の-3.6 を超える下落となった。令和 2 年の初頭から続く、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で、家計最終消費支出、民間企業設備、輸出が大きく落ち込んだことが要因である。一方、四半期別(季節調整済、前期比)でみると、令和 2 年 7~9 月 5.3%、10~12 月 2.8%、3 年 1 月~3 月-0.9%、4~6 月 0.3%となった。令和 2 年第 3 四半期、第 4 四半期の GDP 成長率の上昇は、緊急事態宣言が解除され、感染症の流行や医療体制にもやや落ち着きがみられたことによる景気回復を反映していると考えられる。令和 3 年第 1 四半期の下落は、年末年始にかけての感染症流行の再拡大と、大都市圏を中心とした緊急事態宣言の再発出によるものとみられる。令和 3 年第 2 四半期の上昇は、新型コロナウイルスの医療従事者、高齢者から開始されたワクチン接種が進むことへの期待が反映されていると考えられる。いずれにせよ、令和 2 年から 3 年にかけての経済の状況は新型コロナウイルス感染症の流行の状況と密接に結びついているものであり、今後もこの傾向は継続するとみられる。

こうした状況のなか令和 3 年 6 月から 7 月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査(令和 3 年度第 1 回)」の結果は、日本経済の部分的な回復傾向が反映され、依然として厳しい景況感ではあるものの、前回調査、前々回調査と比べると、多くの項目で DI の上昇傾向がみられた。ただし、令和 3 年 7 月中旬から、新型コロナウイルスの変異株で、より感染力の強いデルタ株の流行により感染者数が急増しており、8 月 27 日現在、緊急事態宣言も東京都をはじめとした 13 都府県に発出されている。今回のアンケート調査はこのような、感染拡大以前の状況を反映していることにも留意する必要があるだろう。今回のアンケート調査で追加した「新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)の影響」と合わせて、既存の質問項目での回答を振り返ると、現状での小山市の景気は、人々の移動・行動が制限されたことによって、需要が全般的に大きく落ちこんでいる負の影響が表れていることが、前回調査、前々回調査から継続して観察される。一方で、景気見通しについては、コロナウイルスのワクチン接種が進むことへの期待から、景気回復を見込む予測がやや優勢であった。

今回のアンケート調査で追加した SDGs についての質問では、約 6 割の企業が SDGs に関心があるものの、すでに SDGs に取り組んでいる割合はその半数に満たなかった。SDGs に関して小山市の政策、広報活動等で期待すること、要望で、「他社の取り組みの紹介」といった回答が複数挙げられていたように、市には企業が SDGs の活動に参加する取り掛かりとなるような情報を仲介する役割が求められている。

以上のように、令和 3 年上半期(1~6 月期)の小山市の景況感をみると、本調査開始以来、リーマン・ショック時に並び最悪期であった令和 2 年上半期と比べると、令和 2 年下半期から継続して改善傾向はみられたが、新型コロナウイルス感染症流行以前の水準までの回復には至っていない。前述した新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大は、日本のみならず、アメリカ、ユーロ圏に対しても好調だった景況感へブレーキをかけている²。社会を取り巻く状況に目を向けると、栃木県では、令和 3 年 8 月 8 日に一部地域が、まん延防止等重点措置の対象となり、同 20 日には、緊急事態宣言の対象地域となった。感染予防の観点

² 参考: IHS マークイット発表の PMI(購買担当者景気担当指数)

(<https://www.markiteconomics.com/Public/Release/PressReleases>、令和 3 年 8 月 27 日閲覧)

から人流を抑制することを目的としたこれらの措置は、飲食店や商業施設の営業活動に負の影響を及ぼすことは避けられない。日本では9月に自民党総裁選を控えており、アメリカの中央銀行にあたるFRB(連邦準備制度理事会)のパウエル議長は、景気を下支えしている量的緩和政策の年内での規模縮小を表明している。新型コロナウイルス感染症の流行状況に注意を払いつつ、国内外の社会・政治の動向に注目したい。

(参考資料)

i. 小山市景気動向アンケート調査票(令和3年度第1回)

小山市景気動向アンケート調査 調査票 (令和3年度第1回)

(2021年6月現在の状況でお答え下さい。6ページ目までご記入のほどよろしくお願い申し上げます。)

質問1 現在の小山市の景気についての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて2021年上半期(1~6月期)の景気は良いと思いますか、悪いと思いますか。(水準)

- ① 良い ② やや良い ③ どちらともいえない ④ やや悪い ⑤ 悪い

質問2-1 質問1のご回答の理由として、どのような点に着目されましたか。もっとも適切と思われるものを一つ選んでください。「⑥それ以外」の場合は、その理由を()内に記入して下さい。

- ① 小山市の人出の状況 ② お客様や取引先の様子(購買態度など)
③ 物価の動き ④ 雇用の状況 ⑤ 周辺地域の様子
⑥ それ以外()

質問2-2 質問2-1の回答内容について具体的に説明してください。

質問3 小山市の景気の先行きについての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて、2021年下半期(7~12月期)の景気は、2021年上半期(1~6月期)と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。(将来の方向)

- ① 良くなる ② やや良くなる ③ 変わらない ④ やや悪くなる ⑤ 悪くなる

質問4 質問3でそのように回答した理由を教えてください。

質問5 貴店(貴社)の売上げ等からみて、貴業界の小山市における2021年上半期(1~6月期)の需要は季節的な要因を除いて、2020年下半期(7~12月期)にくらべて売上金額で増加したと思いますか。

- ① 増加した ② やや増加した ③ 変わらない ④ やや減少した ⑤ 減少した

質問 6-1 質問 5 でそのように回答された理由として、もっとも適当と思われるものを一つ選んでください。

(家計消費向け取引(B to C)の場合)

- ① 来客数の動き ② 販売量の動き ③ 客単価の動き ④ 販売価格の動き
⑤ お客様の様子 ⑥ 競争相手の様子 ⑦ それ以外 ()

(企業向け取引(B to B)の場合)

- ① 受注量や販売量の動き ② 受注価格や販売価格の動き ③ 取引先の様子
④ 競争相手の様子 ⑤ それ以外 ()

質問 6-2 質問 6-1 の回答内容について具体的に説明してください。

質問 7 貴店(貴社)の売上げの動き等からみて、貴業界の小山市における 2021 年下半期(7~12 月期)の売上高(生産高)の見通しをお伺いします。2021 年上半期(1~6 月期)と比べて、季節的要因を除いて、2021 年下半期(7~12 月期)の売上高(生産高)は増加すると思いますか。(売上高の先行き)

- ① 増加する ② やや増加する ③ 変わらない ④ やや減少する ⑤ 減少する

質問 8 質問 7 でそのように回答した理由を教えてください。

質問 9 貴店(貴社)の販売価格の動き等からみて、貴業界の小山市における 2021 年下半期(7~12 月期)の販売価格の見通しをお伺いします。2021 年上半期(1~6 月期)と比べて、2021 年下半期(7~12 月期)の販売価格はどうなると思いますか。(価格見通し)

- ① 上昇する ② やや上昇する ③ 変わらない ④ やや低下する ⑤ 低下する

質問 10 貴店(貴社)の雇用(従業員)の状況等からみて、貴業界の小山市における 2021 年下半期(7~12 月期)の雇用状況の見通しをお伺いします。2021 年上半期(1~6 月期)と比べて、2021 年下半期(7~12 月期)の雇用状況はどうなると思いますか。(雇用見通し)

従業員が

- ① 不足する ② やや不足する ③ 横ばい ④ やや過剰となる ⑤ 過剰となる

質問 11 貴店（貴社）あるいは貴業界における資金繰りの状況をお伺いします。貴店（貴社）の2021 上半期（1～6 月期）における資金繰りは、2020 年下半期（7～12 月期）にくらべて改善しましたか、悪化しましたか。

- ① 改善した ② やや改善した ③ どちらともいえない ④ やや悪化した ⑤ 悪化した

質問 12 質問 11 でそのように回答した理由をあげてください。（複数回答可）

- ① 売上高の変化 ② 設備資金需要の変化 ③ 仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化
④ 人件費の変化 ⑤ 金融機関の貸出態度の変化 ⑥ 金融政策、金利の変化
⑦ その他（具体的に： _____)

質問 13 貴店（貴社）における令和 3 年度の主な従業員の賃金等の状況をお伺いします。（あてはまるものすべてに○をつけてください。複数回答可）

- ① ベースアップを実施 ② ボーナスの実施 ③ 定期昇給を実施 ④ ボーナスの増額
⑤ ボーナス以外の手当の増額 ⑥ 定期給与・ボーナス等の変更なし ⑦ 定期給与の引下げ
⑧ ボーナスの減額 ⑨ ボーナス以外の手当の減額
⑩ その他（具体的に： _____)

質問 14 質問 13 でそのように回答した具体的内容・理由を記入してください。

質問 15 新型コロナウイルス感染症の流行(コロナ禍)に関して、2021 年上半期（1～6 月期）には貴社(貴店)、貴業界はどのような影響を受けましたか。質問 15-1～15-3 に回答してください。

（あてはまるものすべてに○をつけてください。複数回答可）

質問 15-1 供給面への影響

- ① コロナ禍前に比べ一部商品の仕入が困難なままだ ② 商品の仕入の状況はコロナ禍前に戻った
③ コロナ禍前に比べ原材料・部品の入手が困難なままだ
④ 原材料・部品の入手の状況はコロナ禍前に戻った ⑤ コロナ禍前に比べ供給能力が増加した
⑥ 供給能力はコロナ禍前の状況に回復した ⑦ 供給能力はコロナ禍前の状況に戻っていない
⑧ もともとコロナ禍の影響はほとんどない
⑨ その他(具体的に： _____)

質問 15-2 営業・勤務形態等への影響

- ① コロナ禍前に比べ営業時間の短縮・変更等を余儀なくされたままだ
- ② コロナ禍前の営業時間に戻った ③ コロナ禍前に比べ従業員の勤務に困難が生じたままだ
- ④ 従業員の勤務についてコロナ禍前の状態に戻った
- ⑤ コロナ禍をきっかけにテレワーク等新たな勤務形態を採用し続けている
- ⑥ 勤務形態はコロナ禍前のものに戻った ⑦ コロナ禍前と比べキャッシュレス決済の導入が進んだ
- ⑧ コロナ禍前と比べ業態転換が進んだ ⑨ もともとコロナ禍の影響はほとんどない
- ⑩ その他(具体的に: _____)

質問 15-3 需要への影響

- ① コロナ禍前に比べ需要全体が減少した ② コロナ禍前に比べ一部商品の需要が減少した
- ③ 全体的にコロナ禍前の状況に需要がほぼ回復した ④ コロナ禍前に比べ一部商品の需要が増加した
- ⑤ コロナ禍前に比べ需要が全体的に回復した ⑥ もともとコロナ禍の影響はほとんどない
- ⑦ その他(具体的に: _____)

質問 16 質問 15 でそのように回答した具体的内容・理由を記入して下さい。

質問 17 国連が定めた SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)について、以下の質問 17-1～17-4 に回答してください。

質問 17-1 貴店(貴社)の SDGs に関する取り組みを教えてください。

- ① すでに取り組んでいる ② 取り組む予定である
- ③ 予定はないが取り組みたい ④ 特に取り組む予定はない ⑤ 分からない

質問 17-2 質問 17-1 で①～③に回答した方にお尋ねします。貴店(貴社)は SDGs に関してどのように情報収集をしていますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。複数回答可)

- ① テレビ ② ラジオ ③ 新聞 ④ 書籍・雑誌 ⑤ インターネット ⑥ 会社など職場 ⑦ 知人・友人
- ⑧ 日本政府の広報活動 ⑨ 小山市の広報活動
- ⑩ その他(具体的に: _____)

質問 17-3 貴店(貴社)は SDGs の 17 の具体的な目標のうち、どの目標に関心がありますか？(最大3点まで選択してください)

- ① 貧困をなくそう ② 飢餓をゼロに ③ すべての人に健康と福祉を ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基礎をつくろう ⑩ 人や国の不平等をなくそう ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任つかう責任 ⑬ 気候変動に具体的な対策を ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう ⑯ 平和と公正をすべての人に ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう
- ⑱ SDGs に関心はあるが、具体的には分からない ⑲ SDGs に関心がない
- ⑳ その他(具体的に: _____)

質問 17-4 SDGs に関して小山市の政策、広報活動等で期待すること、要望を記載してください。

〔フェースシート〕

小山市経済動向実態調査以外の目的には一切使用いたしませんので、下記の項目にご記入いただきますようお願い申し上げます。

1. 貴店(貴社)のお名前

2. 貴店(貴社)の業種(小山市にある事業所(店舗)で取り扱っている業種)

3. 貴店(貴社)の従業者数 (小山市の事業所(店舗)における従業者)

4. 貴店(貴社)の年間売上げ (小山市の事業所(店舗)における売上げ(概数で結構です))

5. 貴店(貴社)の小山市の店舗 (事業所)における売上げのうち、小山市内の企業、消費者からの需要の割合はおよそどのくらいですか。一つ選んで○をつけてください。
①80～100% ②60～79% ③40～59% ④20～39% ⑤0～19%

6. 調査の回答に関する連絡先

ご担当者名:

ご住所:

電話番号:

E-mail:

(お忙しいところご協力どうもありがとうございました。ご回答いただきました方には、次回調査時に今回の調査結果とともに、些少なながらクオカード (1000 円) をお送りいたします。)

「小山市経済動向実態調査」

委託元 小山市経済部商業観光課

調査受託 白鷗大学ビジネス開発研究所

電話 : 0285-22-1111(大学・代表)

0285-20-8125(研究所)

Fax : 0285-22-8157

調査担当 (西谷、八尾、櫻庭)

ii. 小山市景気動向アンケート調査(令和3年度第1回)の回答一覧

選択回答 質問1~12(企業番号1~23)

No.	質問1	質問2	質問3	質問5	質問6		質問7	質問9	質問10	質問11	質問12
					家計	企業					
1	4	5	3	4	5	4	4	3	4	4	-
2	3	2	3	4	1	3	3	3	2	3	-
3	2	2, 4	3	2	-	1	3	3	2	3	-
4	2	2	2	3	2	3	3	3	3	2	3, 4
5	3	4	2	3	6	3	2	2	2	3	2, 3
6	4	4	2	2	-	1	4	3	4	2	1
7	5	2	3	5	5	3	3	5	3	5	7
8	3	1	2	2	2	3	2	3	3	3	3
9	4	2	2	2	-	1	2	3	3	4	1
10	4	2	3	5	-	1	5	2	3	4	1
11	4	1	2	4	4	2	4	3	3	4	1, 3
12	5	2	2	3	1	1	2	2	2	5	5
13	3	2	3	3	2	1	3	4	4	3	1
14	4	5	3	5	-	1	2	1	3	4	1
15	4	2, 5	2	3	-	1, 3	2	1	2	1	6
16	4	6	3	2	1	-	2	2	3	3	3
17	3	1	3	2	2	1	2	3	3	2	1, 4
18	5	1	5	5	1	1	5	5	4	5	1, 6
19	4	2	3	3	5	3	3	3	3	3	2
20	4	2	4	3	5	3	3	3	3	3	1
21	4	2	4	2	1	-	3	3	3	3	1, 3
22	4	5	4	4	3	-	4	4	3	2	7
23	3	2	3	3	1	-	3	3	3	3	1

選択回答 質問 1~12 (企業番号 24~46)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 5	質問 6		質問 7	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12
					家計	企業					
24	4	1	2	4	2	1	4	2	3	3	7
25	4	6	2	3	-	2	2	3	2	3	7
26	5	5, 6	2	4	2	-	4	4		3	7
27	4	1	4	4	6	3	3	4	2	3	3
28	2	5	2	2	-	1	-	-	-	2	3
29	4	2	2	3	-	1	3	3	3	3	1
30	4	1, 2	3	4	-	1	3	3	3	3	3
31	5	1	2	3	7	5	2	3	3	3	1, 3
32	2	1	1	4	-	1	3	4	1	2	4
33	3	2	2	3	5	5	4	3	3	2	1
34	4	2	4	3	5	3	2	3	3	2	1
35	4	2	3	4	1	1	2	3	3	3	1
36	4	2	3	2	-	1	3	3	3	3	6
37	4	6	2	3	-	3	3	3	3	2	1
38	4	2	2	3	-	2	3	3	3	3	7
39	4	2	3	2	1	-	2	2	3	3	1
40	4	2	3	3	1	-	3	3	3	3	1
41	4	2	3	4	-	1	3	4	3	4	1
42	4	2	2	4	5	3	2	3	5	4	1
43	3	2	4	4	5	-	3	4	3	3	-
44	4	5	3	4	1	3	3	3	3	3	-
45	3	2, 4	2	2	-	2	2	3	3	3	4
46	4	2	2	3	1	-	2	2	3	3	1

選択回答 質問 13～17 (企業番号 1～23)

No.	質問 13	質問 15-1	質問 15-2	質問 15-3	質問 17-1	質問 17-2	質問 17-3
1	-	7	1	1	-	-	-
2	-	8	4	6	3	5	8
3	2, 3	6	2, 4	3	3	1, 3, 5, 6	5, 7, 11
4	6	8	9	6	5	9	1, 2, 6
5	2	5	6, 7	4	1	3, 5, 6, 8	7, 8, 9, 10
6	3	6	9	4	4	3, 5	12
7	6	8	9	1	1	1, 3, 5	4, 6, 16
8	2	2	5	5	1	1, 3, 5, 6	5, 7, 11
9	8	8	9	1	4	1	6, 7, 13
10	2, 8	8	9	1	4	-	8, 12, 13
11	6	8	9	1	5	-	18
12	8	7	1, 3	1	3	3	11, 18
13	1	8	9	6	3	1, 3	11
14	1, 2, 3	8	9	6	5	-	11, 13
15	2, 3	8	2	1	3	1, 3, 8	18
16	3	4	1	1	1	1, 8, 9, 10	1, 3, 16
17	1, 2, 3	2, 4	2	3	2	5, 8, 9	7, 8, 12
18	3	3, 7	3	2	1	6	7
19	2, 3	4	4	6	3	1, 2, 5	3, 8, 11
20	6	9	1, 3	1	3	1, 4	3
21	8	7	1	1	3	1, 4	7, 16, 17
22	10	9	7	2	3	1, 3, 7	1, 2, 7
23	2	8	1	1	1	5	1

選択回答 質問 13～17 (企業番号 24～46)

No.	質問 13	質問 15-1	質問 15-2	質問 15-3	質問 17-1	質問 17-2	質問 17-3
24	2, 3	2	5	3	3	5	12, 13, 15
25	2, 3	1	1, 5, 7	1	3	1, 3, 5	5, 8, 11, 12, 13
26	10	9	10	1	4	-	3, 4, 13
27	10	3	-	1	-	7	16
28	3	9	10	4	-	1, 3, 4, 5	7, 14, 15
29	3	8	3, 5	1	1	3, 5	8, 9
30	6	2, 6	9	2	5	1	2, 6, 10, 12, 13, 14
31	8	8	3	1	1	5, 10	3, 7, 8
32	8	9	9	2	3	1, 5	12, 13, 18
33	1	8	2	5	2	1, 2, 3, 4, 5, 8, 9	3
34	1, 2, 3, 4	2, 4	4	3	2	3	3, 4, 6
35	3	7	2, 7	1	5	1, 3, 5, 8, 9	1, 3, 7
36	1, 2, 3, 9	7	2, 7	1	1	1, 2, 3, 4	1, 8, 11
37		9	4	4	5	-	8, 11, 12
38	10	8	-	-	-	-	-
39	6	8	1	1	1	1, 3, 5, 6	5, 7
40	6	7	3	1, 4	3	3	1, 2
41	2, 3	8	5	2	1	3, 4, 6	7, 11, 13
42	10	9	1	1	3	3, 5, 9	1, 6, 13
43	6	7	5	1	4	-	8
44	6	-	3	1	4	1	7, 10, 11
45	2, 3	6	9	6	4	10	5, 8
46	8	8	4	1	1	1, 2, 3, 8	13

記述回答 質問 1、2

No.	質問 1	質問 2-1	質問 2-1 選択肢 6 の回答	質問 2-2
1	4	5		客足が少ない
2	3	2		
3	2	2, 4		受注量の増加、人手不足
4	2	2		
5	3	4		製造業、非製造業との格差あり、非製造業の内、飲食は特に低迷している。 製造業も特色としてプロ人材や副業人材を求める傾向がある。(EC や DX への取り組み)
6	4	4		離転職者がおおくなってきているように感じるため。(離職理由が会社の将来性というのが多いように感じる)
7	5	2		コロナ前に比べ、お客様の会社の状況が悪くなり、それに伴い、仕事量の落ち込みがある。
8	3	1		コロナウイルスの影響により飲食業が苦しんでいる。人出が減っていることを実感している。一方、私共住宅業界は非常に好調である。
9	4	2		依頼される仕事の量が少ない
10	4	2		設備投資について計画が先延しとなっている
11	4	1		飲食業など、お客が戻ってきていないと思う
12	5	2		新型コロナウイルスの感染拡大により、出張の自粛、会食の自粛等、お客様の予約が激減したため。
13	3	2		
14	4	5		大人数の食事会や宴会が規制されており、近くの飲食関係のお店が閉店している
15	4	2, 5		お客様からの受注や見積もりの件数はまださほど増えていなかった。ただ、6月に入りやや見積もり受注の件数は増えてきている。
16	4	6	新型コロナウイルス感染症の影響	法人経営に関しては影響を受けていないが、事業所での授産活動の1つの製パン事業の売り上げが、コロナ以前のようにいかない。

17	3	1		夕方以降入流が見られない
18	5	1		需要の大減少のため
19	4	2		コロナ禍により
20	4	2		
21	4	2		コロナ禍で売上減少になっているため
22	4	5		来客数の減少
23	3	2		
24	4	1		居酒屋など酒提供店の夜間の営業状況が良くない。
25	4	6		緊急事態宣言を出されている地域でないが、コロナ禍がまだあるので、飲食・観光業中心に影響が出ている。
26	5	5, 6	コロナのため	コロナの影響であらゆるスポーツ・芸術活動が中止になっている。
27	4	1		
28	2	5		荒井商事からトラック建機のため、それを輸出するヤードが多く、まわりの市街化調整地の開発が多くみられる為
29	4	2		コロナ禍の影響が続いている
30	4	1, 2		5月電話もFAXも少なかった
31	5	1		コロナ禍において人出が激減している。特に夜間時間帯。
32	2	1		昨年と同時期に比べるとコロナ感染者数も少なくなり街中は活気を取り戻しつつある。
33	3	2		取引額が全体に低迷している
34	4	2		受注等の先送りが多い
35	4	2		
36	4	2		事業活動の停滞、売上の回復遅れ
37	4	6		コロナ禍による景気等の低迷
38	4	2		飲食業等の経営不振やコロナ禍での営業活動の制限など
39	4	2		お客様の人数が少ない
40	4	2		飲食業に関わる業種、食材卸し、酒類販売店、県南市場(魚・野菜)仲卸しなど飲食に関わる業種は、コロナの影響により非常に厳しい状況が続いています。
41	4	2		受注が少ない

42	4	2		コロナ禍で飲食店の売上が激減している。
43	3	2		コロナの影響
44	4	5		街中に人がいない。
45	3	2, 4		コロナ禍の影響により、業界による差がありすぎる。
46	4	2		来客数は昨年同様増加傾向にならず

記述回答 質問 3、4

No.	質問 3	質問 4
1	3	景気が良くない
2	3	
3	3	営業予測が横ばいのため
4	2	
5	2	製造業(自動車関連)は、半導体の問題はあるものの、今後の受注増加が見込まれるため
6	2	コロナワクチン接種状況改善による購買活動の活発化
7	3	
8	2	ワクチンの普及により人出が増加
9	2	2021/05 までの仕事の数が多少戻ってきた感じがあるため(コロナ前と比べて)
10	3	コロナの影響など先がみとおせない状況のため
11	2	ワクチンが行き渡ると思うので
12	2	新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、出張や会食の予約が増加するため。
13	3	
14	3	コロナ禍が収まるとは思えない
15	2	上記で記入したように 6 月に入って上向き傾向がみられる。ただし、まだ不透明であり、不安定である。
16	3	変わらないというよりか、わからない。
17	3	コロナ影響の業種・業態が固定化しているのか、当分は変化がないと思われる。
18	5	元にはテレワーク化で変わらない
19	3	コロナ禍は今年中は続くと思われる。
20	4	
21	4	オリンピックの影響を受けると考えられる為
22	4	売上げが少々下がっている
23	3	
24	2	COVID-19 ワクチン接種が加速している為、下半期には人出が戻ることが期待できる。
25	2	ワクチン接種が進み、人流が活発になり消費が増加すると思う
26	2	コロナの問題が少々収まってくれば、元気になる予定です。
27	4	
28	2	(宅地)開発
29	2	ワクチン接種増に伴い、コロナ禍収束が加速する(期待して)
30	3	何とも言えない

31	2	ワクチン接種が進み、人手が増加すると思われる。
32	1	下半期は小山市内でもワクチン接種が進み、これまで家で過ごしてきた慎重派も消費意欲を上げることが見込まれるため。
33	2	コロナワクチンに期待
34	4	コロナ感染が終息しない為
35	3	
36	3	コロナの終息は不透明だが、経済活動は通常通りの為
37	2	コロナワクチン接種等による多少の回復見込みあり
38	2	コロナワクチン接種の割合の増加などにより
39	3	新型コロナウイルス感染状況の改善が鈍い為
40	3	・ワクチンが進んでいない ・オリンピック開催で、海外からの入国者の水際対策がしっかりできていない事。オリンピック開催による国民の期のゆるみでコロナ感染者が再び増えてしまうのではないかと、懸念しています。
41	3	見込みがある。案件が少ない。
42	2	コロナ禍がやや収束に向かっていく
43	4	オリンピックがあってもコロナの改善にはつながらないので
44	3	コロナワクチンの接種がもっと進まないは無理
45	2	ワクチン次第
46	2	新型コロナウイルスの感染状況改善

記述回答 質問 5、6

No.	質問 5	質問 6-1		質問 6-1 その他の回答	質問 6-2
		家計	企業		
1	4	5	4		低料金の店がまた増えた
2	4	1	3		
3	2		1		自動車関連で受注増
4	3	2	3		
5	3	6	3		
6	2		1		当社製品に国や地方自治体からコロナ対策のための補助金が出ており、受注量が拡大している。
7	5	5	3		
8	2	2	3		新型コロナウイルスの影響で在宅率が上がり、戸建志向が高まり売り上げが伸びております。
9	2		1		売上の前年同月比を毎月出しているが、多少+になってきている
10	5		1		受注減少
11	4	4	2		原材料費が高くなったため
12	3	1	1		新型コロナウイルス感染症により、2020年3月から現在まで、1年以上に亘り出張や会食の自粛が長期化しているため、年間を通してとても厳しい状況である。
13	3	2	1		
14	5		1		受注量は変わっていないが、計画が遅れており、販売量が伸びていない
15	3		1, 3		2020年下半期と比べてさして回復したとは言えない。足踏み状態である。
16	2	1			コロナ禍に慣れていない、外出する人が昨年下半期より増えたように感じる。
17	2	2	1		先期同時期より受注量が増加した
18	5	1	1		経済の減少が大きい
19	3	5	3		
20	3	5	3		

21	2	1			徐々にではあるが来客・売上ともに増加しているため
22	4	3			
23	3	1			
24	4	2	1		20年度下半期には COVID-19 対策関連商材が売り上げを伸ばしたが、21年度上半期には沈静化した。
25	3		2		自動車販売台数の昨対比が横ばい
26	4	2			
27	4	6	3		
28	2		1		前半はコロナで停滞していたが、後半は昨年並みで推移したため
29	3		1		特段の変化なし
30	4		1		さくねん 30 動いたものが 20 に減ったりした
31	3	7	5		利用者は減少したが、昨年 12 月に運賃改定があり、客単価が上昇したため
32	4		1		コロナの影響で顧客の設備投資の抑制の動きがあるため、今後は戻る見込み
33	3	5	5	企業努力	商品開発力・営業努力
34	3	5	3		
35	4	1	1		常連客の来店間隔が長くなった
36	2		1		相談、問い合わせ件数の増加
37	3		3		
38	3		2		昨年と経営状況と経営環境の変化は感じられない。また、小山市の実の状況については判断は難しい。
39	2	1			
40	3	1			コロナにより来客数は激減しています。今もコロナ前には全然戻っていません。
41	4		1		成約まで至らない
42	4	5	3		消費者が飲食店をさけて、家飲みの傾向
43	4	5			

44	4	1	3		
45	2		2		昨年減少していた大口受注が取れたため
46	3	1			来店客数の動向

記述回答 質問 7、8

No.	質問 7	質問 8
1	4	客足がもどらない
2	3	
3	3	
4	3	
5	2	
6	4	プラス材料が見当たらない為
7	3	
8	2	税制、給付金、補助金の起源によるかけ込みが期待できる。
9	2	1～5月において、微増傾向な為
10	5	業績のよい客先が少ないため受注量が少なくなる
11	4	コロナによって生活様式が変わってしまったため
12	2	新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、本年の9月以降接種率が40%を超えて来るものと予測されるので、出張や会食の需要が動き出すものと考えられるため。
13	3	
14	2	遅れていた工事が始まるため
15	2	6月14日時点では6月に入って徐々に好調(受注)である。先の物件の話もあり、ようやく動き出してきたような感じである。
16	2	新型コロナのワクチン接種状況により変わってくると思う。
17	2	コロナ前の状況に戻りつつある
18	5	企業の大多数が売り上げ減少のため
19	3	
20	3	
21	3	オリンピック等の影響を考えて
22	4	通販会社からの購入
23	3	
24	4	同上
25	2	4の回答同様
26	4	オリンピックが成功すれば少々元気が出てくると思います。
27	3	
28		不明
29	3	増減の動きは感じられない
30	3	先が全く見えない
31	2	ワクチン接種が進み人出が増加すると思われる。オリンピック効果が出る。

32	3	コロナの影響で落ち込んだ売上が回復する時期は、次年度以降と見込んでいるため
33	4	小山市としての経済に関する動きが鈍くなっている。
34	2	
35	2	ワクチン接種が進む
36	3	政策的に変わらないため
37	3	
38	3	変わらないとしたのは、当社が小山市以外の商圏での営業活動が多いため、変わらないとしたが、判断ができないといったところです。
39	2	気のゆるみもあり、人手が増すと思う
40	3	
41	3	案件が少ない
42	2	コロナ禍がやや収束に向かう
43	3	コロナの影響が続くので
44	3	
45	2	6-2と同様(年間契約)
46	2	新型コロナ感染状況の改善

記述回答 質問 11、12

No.	質問 11	質問 12	回答 12 その他の回答
1	4		
2	3		
3	3		
4	2	3, 4	
5	3	2, 3	
6	2	1	
7	5	7	コロナの影響で全体的に動かない
8	3	3	
9	4	1	
10	4	1	
11	4	1, 3	
12	5	5	
13	3	1	
14	4	1	
15	1	6	
16	3	3	
17	2	1, 4	
18	5	1, 6	
19	3	2	
20	3	1	
21	3	1, 3	
22	2	7	金融からの借入金により
23	3	1	
24	3	7	設備投資を抑えた為、キャッシュフローが良くなった。
25	3	7	特別融資もあつたり、特に変化はなかった
26	3	7	資金繰りは必要ありません
27	3	3	
28	2	3	
29	3	1	
30	3	3	
31	3	1, 3	
32	2	4	
33	2	1	
34	2	1	
35	3	1	

36	3	6	
37	2	1	
38	3	7	多様な要因があるため、一概には言えない。
39	3	1	
40	3	1	
41	4	1	
42	4	1	
43	3		
44	3		
45	3	4	
46	3	1	

記述回答 質問 13、14

No.	質問 13	質問 13 その他の回答	質問 14
1			
2			
3	2, 3		②③は毎年実施
4	6		
5	2		
6	3		定期昇給は実施、ボーナス額は現在検討中
7	6		
8	2		売り上げは全社的に回復しており、通常通りのボーナスを支給されている。
9	8		売上が下がっているため
10	2, 8		売上の減少
11	6		厳しいながらも現状維持
12	8		時短営業や営業自粛を行い、社員の雇用調整を実施しているため、社員の実労働日数の減少と、売上が激減している状況からボーナスの支給を減額した。
13	1		
14	1, 2, 3		2020 年度は好調で予算を上回ったため
15	2, 3		定期昇給は最低ライン、賞与は前年 12 月に見送ったので、今 7 月は最低限で実施予定
16	3		法人の事業所従業員は給与規定通り、製パン事業の障害者に支払われる工賃は減額。
17	1, 2, 3		雇用の確保(人材)、売上の増加
18	3		良い人材の確保のため
19	2, 3		
20	6		
21	8		経費減の為
22	10	例年通り	売上が減る中、現状維持がいっぱい입니다。
23	2		
24	2, 3		
25	2, 3		これまで通り、業種連動型でボーナス支給しましたし、定期昇給も実施してきている。
26	10	個人事業主で従業員の賃金はありません	

27	10		
28	3		定期的な状況維持のため
29	3		業績は厳しいが、従業員の期待にできる限り応えたい。
30	6	ボーナスは一度も出たことがない	売上にかかわらず⑩の状況
31	8		コロナ禍前に比べ売上げが30～40%減少しているため
32	8		2年前のボーナスに比べ、今回はコロナの影響を踏まえ、減額になった。結果的には10年スパンの平均値に合った。
33	1		モチベーションアップ
34	1, 2, 3, 4		
35	3		コロナ禍にも関わらず、働いてくれているので
36	1, 2, 3, 9		ベース、定期昇給は例年通り・給与体系見直しによる手当減額実施予定
37			
38	10	給与規定に応じた支給	給与規定の一定のルールに基づいての支給となります。
39	6		
40	6		
41	2, 3		2020年度業績による
42	10	ボーナスなし	赤字決算ではボーナスは払えない
43	6		
44	6		
45	2, 3		定昇は行わないわけにはいかない。ボーナスは必要最低限で支給(生活水準の担保)
46	8		業績賞与大きく減となる

記述回答 質問 15

No.	質問 15-1	質問 15-1 ⑨その他	質問 15-2	質問 15-2 ⑩その他	質問 15-3
1	7		1		1
2	8		4		6
3	6		2, 4		3
4	8		9		6
5	5		6, 7		4
6	6		9		4
7	8		9		1
8	2		5		5
9	8		9		1
10	8		9		1
11	8		9		1
12	7		1, 3		1
13	8		9		6
14	8		9		6
15	8		2		1
16	4		1		1
17	2, 4		2		3
18	3, 7		3		2
19	4		4		6
20	9	入会者が増えない	1, 3		1
21	7		1		1
22	9	ほかの商品で代替した	7		2
23	8		1		1
24	2		5		3
25	1		1, 5, 7		1
26	9	注文をすればメーカーは すぐに発送してくれます。	10	余暇を楽しんでいます。	1
27	3				1
28	9	扱う商品が変わり前年同 等になった	10	営業面は交通手段 が電車から車に、ま た web による商談 がふえた。勤務形態 は変化なし	4

29	8		3, 5		1
30	2, 6		9		2
31	8		3		1
32	9	建設現場でコロナ感染者が発生し、製品搬入が一時ストップした	9		2
33	8		2		5
34	2, 4		4		3
35	7		2, 7		1
36	7		2, 7		1
37	9	供給面該当職種ではない	4		4
38	8				
39	8		1		1
40	7		3		1, 4
41	8		5		2
42	9	供給面では変化なし	1		1
43	7		5		1
44			3		1
45	6		9		6
46	8		4		1

記述回答 質問 16

No.	質問 16
1	
2	
3	工場のため、テレワーク実施はなし
4	
5	
6	国、地方自治体によるユーザー様への購入補助金
7	お客様の動きが止まったままで業績悪化
8	在宅率が上がり、戸建志向が高まっているため
9	
10	製造に関してはコロナの影響はほとんどない
11	大口の注文が入らなくなった
12	出張の自粛や会食の自粛により需要が激減した。
13	
14	建設工事や土木工事が影響なく動いていた
15	コロナ禍の影響で顧客先の生産・販売活動が停滞し、受注量の激減、発注の見合わせ等の影響を強く受けた
16	様々な行事、会議などが開催されないため、受注量の減少。
17	
18	人の流れが大減少してきている
19	
20	
21	来客減・売上減の為
22	しかし代替品でカバーした
23	
24	
25	売上台数の減少あり
26	受注の減少
27	
28	パーティションの吸音対策品が増加。その他全体的には減少的
29	
30	必要最低限のものしか購入していない様子
31	需要が少ない時間帯や曜日に乗務員の出勤数を減らして需要と供給のバランスをとっている。
32	外資系企業の受注予定が、コロナの影響により凍結された
33	お客様の動き

34	
35	
36	需要の波があり、令和3年上半期は低迷
37	
38	
39	売上の減少
40	来客数は激減したままですが、お昼のお弁当配達や会社関係の会議用のお弁当の配達などは増えました。
41	購入計画の延期
42	コロナ禍の動向ですべて変わる
43	
44	
45	
46	ファッション関連(アパレル)の需要が大きく減

質問 17-1、17-2

No.	質問 17-1	質問 17-2	質問 17-2 ⑩その他
1			
2	3	5	
3	3	1, 3, 5, 6	
4	5	9	
5	1	3, 5, 6, 8	
6	4	3, 5	
7	1	1, 3, 5	
8	1	1, 3, 5, 6	
9	4	1	
10	4		
11	5		
12	3	3	
13	3	1, 3	
14	5		
15	3	1, 3, 8	
16	1	1, 8, 9, 10	栃木県の広報活動
17	2	5, 8, 9	
18	1	6	
19	3	1, 2, 5	
20	3	1, 4	
21	3	1, 4	
22	3	1, 3, 7	
23	1	5	
24	3	5	
25	3	1, 3, 5	
26	4		
27		7	

28		1, 3, 4, 5	
29	1	3, 5	
30	5	1	
31	1	5, 10	商工会議所の広報活動
32	3	1, 5	
33	2	1, 2, 3, 4, 5, 8, 9	
34	2	3	
35	5	1, 3, 5, 8, 9	
36	1	1, 2, 3, 4	
37	5		
38			
39	1	1, 3, 5, 6	
40	3	3	
41	1	3, 4, 6	
42	3	3, 5, 9	
43	4		
44	4	1	
45	4	10	取引先からの情報
46	1	1, 2, 3, 8	

質問 17-3、17-4

No.	質問 17-3	質問 17-4
1		
2	8	
3	5, 7, 11	各社の取り組みをピックアップして紹介いただきたいです。
4	1, 2, 6	
5	7, 8, 9, 10	
6	12	多くの人(年金・性別等)が興味を持てるような広報活動
7	4, 6, 16	
8	5, 7, 11	
9	6, 7, 13	
10	8, 12, 13	特になし、まだよくわからないため
11	18	
12	11, 18	業種ごとに SDGsの目標に対する具体的な取り組みを例示して貰えれば、それが手掛かりとなるので、参加しやすくなります。
13	11	
14	11, 13	
15	18	
16	1, 3, 16	
17	7, 8, 12	
18	7	
19	3, 8, 11	住み続けられるまちづくりに期待したい
20	3	
21	7, 16, 17	特になし
22	1, 2, 7	
23	1	
24	12, 13, 15	
25	5, 8, 11, 12, 13	
26	3, 4, 13	
27	16	
28	7, 14, 15	特になし
29	8, 9	
30	2, 6, 10, 12, 13, 14	
31	3, 7, 8	
32	12, 13, 18	小山市として渡良瀬遊水地の活動にてすでに取り組んでいるので、認知度をあげてほしい

33	3	
34	3, 4, 6	
35	1, 3, 7	
36	1, 8, 11	子供などの若年層への教育・市独自の取組みを広報誌にのせる。
37	8, 11, 12	
38		
39	5, 7	
40	1, 2	
41	7, 11, 13	生活の安定・産業の発展
42	1, 6, 13	特にありませんでした
43	8	
44	7, 10, 11	
45	5, 8	
46	13	

iii. 小山市景気動向アンケート調査(時系列データ)

質問 1 小山市の景気の現状(水準)

				良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	無回答	DI
今回	令和	3年	1~6月	0.0	8.7	19.6	60.9	10.9	0.0	31.5
前回		2年	7~12月	0.0	9.1	13.6	43.2	34.1	0.0	24.4
前々回		2年	1~6月	0.0	0.0	6.5	28.3	65.2	0.0	10.3
第35回		元年	7~12月	0.0	11.8	35.3	45.1	5.9	2.0	38.5
第34回		元年	1~6月	2.2	10.9	47.8	37.0	0.0	2.2	44.5
第33回	平成	30年	7~12月	2.2	24.4	55.6	13.3	4.4	0.0	51.6
第32回		30年	1~6月	0.0	31.6	55.3	10.5	0.0	2.6	55.4
第31回		29年	7~12月	0.0	32.6	58.1	4.7	4.7	0.0	54.7
第30回		29年	1~6月	0.0	17.0	59.6	19.1	4.3	0.0	47.3
第29回		28年	7~12月	0.0	14.6	47.9	31.3	6.3	0.0	42.7
第28回		28年	1~6月	0.0	9.3	64.8	20.4	5.6	0.0	44.5
第27回		27年	7~12月	0.0	21.7	56.5	21.7	0.0	0.0	50.0
第26回		27年	1~6月	0.0	22.4	49.0	20.4	8.2	0.0	46.4
第25回		26年	7~12月	0.0	10.9	50.0	32.6	6.5	0.0	42.7
第24回		26年	1~6月	2.0	16.0	54.0	16.0	8.0	4.0	46.9
第23回		25年	7~12月	2.0	28.6	49.0	16.3	4.1	0.0	52.0
第22回		25年	1~6月	0.0	18.5	48.1	31.5	1.9	0.0	45.8
第21回		24年	7~12月	0.0	4.1	44.9	34.7	16.3	0.0	34.2
第20回		24年	1~6月	0.0	14.6	29.2	43.7	12.5	0.0	36.7
第19回		23年	7~12月	1.8	9.2	25.5	45.5	18.0	0.0	32.8
第18回		23年	1~6月	0.0	1.9	15.4	50.0	30.8	1.9	22.0
第17回		22年	7~12月	0.0	6.7	33.3	40.0	20.0	0.0	31.7
第16回		22年	1~6月	0.0	10.4	27.1	39.6	22.9	0.0	31.3
第15回		21年	7~12月	0.0	2.1	4.2	41.7	52.0	0.0	14.1
第14回		21年	1~6月	0.0	1.8	1.8	38.6	57.8	0.0	11.9
第13回		20年	7~12月	0.0	0.0	4.3	36.2	59.5	0.0	11.2
第12回		20年	1~6月	0.0	2.2	13.3	66.7	17.8	0.0	25.0
第11回		19年	7~12月	0.0	0.0	38.3	53.2	8.5	0.0	32.5
第10回		19年	1~6月	0.0	23.1	45.2	27.9	3.8	0.0	46.9
第9回		18年	7~12月	0.0	20.8	35.4	33.3	10.5	0.0	41.6
第8回		18年	1~6月	0.0	25.5	53.2	14.9	6.4	0.0	49.5

第7回	17年	7~12月	0.0	28.9	44.4	22.2	4.5	0.0	49.4
第6回	17年	1~6月	0.0	14.6	29.3	51.0	5.1	0.0	38.4
第5回	16年	7~12月	0.0	12.5	27.5	42.5	17.5	0.0	33.8
第4回	16年	1~6月	0.0	16.7	38.1	33.3	11.9	0.0	39.9
第3回	15年	7~12月	0.0	12.0	18.0	40.0	30.0	0.0	28.0
第2回	15年	1~6月	1.6	0.0	16.4	44.3	37.7	0.0	20.9
初回	14年	7~12月	0.0	1.2	7.4	37.0	54.4	0.0	13.9

質問3 小山市の景気の先行き(来半期見通し)

見通し対象時期				良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	DI
今回	令和	3年	7~12月	2.2	43.5	39.1	13.0	2.2	0.0	57.6
前回		3年	1~6月	0.0	13.6	38.6	34.1	13.6	0.0	38.1
前々回		2年	7~12月	6.5	23.9	28.3	17.4	19.6	4.3	44.9
第35回		2年	1~6月	0.0	15.7	56.9	25.5	0.0	2.0	47.6
第34回		元年	7~12月	2.2	10.9	54.3	28.3	2.2	2.2	45.6
第33回	平成	元年	1~6月	0.0	31.1	57.8	11.1	0.0	0.0	55.0
第32回		30年	7~12月	2.6	15.8	68.4	13.2	0.0	0.0	52.0
第31回		30年	1~6月	0.0	39.5	53.5	7.0	0.0	0.0	58.1
第30回		29年	7~12月	0.0	19.1	63.8	14.9	2.1	0.0	50.0
第29回		29年	1~6月	0.0	24.5	61.2	12.2	2.0	0.0	52.0
第28回		28年	7~12月	1.9	11.1	53.7	29.6	3.7	0.0	44.5
第27回		28年	1~6月	0.0	21.7	60.9	17.4	0.0	0.0	51.1
第26回		27年	7~12月	0.0	30.6	55.1	12.3	2.0	0.0	53.6
第25回		27年	1~6月	0.0	26.1	45.7	21.7	4.3	2.2	48.9
第24回		26年	7~12月	0.0	24.0	46.0	26.0	4.0	0.0	47.5
第23回		26年	1~6月	4.1	28.6	42.9	22.4	2.0	0.0	52.6
第22回		25年	7~12月	1.9	37.0	50.0	7.4	3.7	0.0	56.5
第21回		25年	1~6月	2.0	36.7	42.9	14.3	4.1	0.0	54.6
第20回		24年	7~12月	0.0	20.8	43.8	27.1	8.3	0.0	44.3
第19回		24年	1~6月	0.0	16.4	47.3	27.3	7.3	1.7	43.6
第18回		23年	7~12月	3.8	21.2	38.5	23.1	13.4	0.0	44.7
第17回		23年	1~6月	0.0	6.7	64.4	24.4	4.5	0.0	43.3
第16回		22年	7~12月	2.1	29.2	52.1	6.3	8.3	2.0	52.7
第15回		22年	1~6月	0.0	8.3	37.5	33.3	20.9	0.0	33.3
第14回		21年	7~12月	1.8	17.5	36.8	27.2	14.9	1.8	40.9
第13回		21年	1~6月	0.0	0.0	10.6	12.8	74.5	2.1	8.7
第12回		20年	7~12月	0.0	2.2	13.3	68.9	15.6	0.0	25.5
第11回		20年	1~6月	0.0	8.5	42.6	42.6	4.3	2.0	39.1
第10回		19年	7~12月	1.9	19.2	58.7	20.2	0.0	0.0	50.7
第9回		19年	1~6月	2.1	25.0	58.3	10.4	4.2	0.0	52.6
第8回		18年	7~12月	0.0	31.9	51.1	17.0	0.0	0.0	53.7
第7回		18年	1~6月	2.2	51.1	40.0	6.7	0.0	0.0	62.2
第6回		17年	7~12月	0.0	17.1	48.8	26.8	7.3	0.0	43.9
第5回		17年	1~6月	0.0	9.8	41.5	43.9	4.8	0.0	39.1

第4回	16年	7~12月	0.0	33.3	50.0	11.1	5.6	0.0	52.8
第3回	16年	1~6月	0.0	18.0	32.0	34.0	16.0	0.0	38.0
第2回	15年	7~12月	1.6	3.3	47.5	32.8	14.8	0.0	36.0
初回	15年	1~6月	0.0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問5 業界の小山市における売上 (売上金額の増減)

				増加した	やや増加	変わらない	やや減少	減少した	無回答	DI
今回	令和	3年	1~6月	0.0	23.9	37.0	30.4	8.7	0.0	44.0
前回		2年	7~12月	0.0	20.5	31.8	22.7	22.7	2.3	37.8
前々回		2年	1~6月	2.2	8.7	10.9	32.6	45.7	0.0	22.3
第35回		元年	7~12月	0.0	13.7	35.3	43.1	3.9	3.9	40.3
第34回		元年	1~6月	4.3	15.2	39.1	30.4	8.7	2.2	43.8
第33回	平成	30年	7~12月	4.4	22.2	48.9	20.0	2.2	2.2	51.6
第32回		30年	1~6月	0.0	23.7	50.0	23.7	2.6	0.0	48.7
第31回		29年	7~12月	2.3	25.6	51.2	16.3	4.7	0.0	51.2
第30回		29年	1~6月	2.1	14.9	55.3	25.5	2.1	0.0	47.3
第29回		28年	7~12月	0.0	10.2	59.2	28.6	2.0	0.0	45.4
第28回		28年	1~6月	0.0	20.4	44.4	24.1	11.1	0.0	44.5
第27回		27年	7~12月	0.0	23.9	50.0	21.7	4.3	0.0	49.4
第26回		27年	1~6月	2.0	16.3	47.0	26.5	6.1	2.0	45.4
第25回		26年	7~12月	2.2	10.9	47.8	32.6	6.5	0.0	43.3
第24回		26年	1~6月	2.0	22.0	30.0	30.0	14.0	2.0	41.8
第23回		25年	7~12月	8.2	30.6	36.7	16.3	8.2	0.0	53.6
第22回		25年	1~6月	1.9	18.5	37.0	37.0	3.7	1.9	44.4
第21回		24年	7~12月	0.0	10.2	36.7	30.6	20.4	2.1	34.3
第20回		24年	1~6月	2.1	20.8	33.3	29.2	14.6	0.0	42.4
第19回		23年	7~12月	7.3	27.3	18.2	29.1	16.3	1.8	45.0
第18回		23年	1~6月	0.0	3.8	17.3	46.2	30.8	1.9	23.5
第17回		22年	7~12月	4.4	20.0	42.2	24.4	9.0	0.0	46.6
第16回		22年	1~6月	2.1	20.8	33.3	27.1	14.6	2.1	42.0
第15回		21年	7~12月	2.1	4.2	29.2	39.6	24.9	0.0	29.8
第14回		21年	1~6月	1.8	3.5	10.5	49.1	33.3	1.8	22.4
第13回		20年	7~12月	0.0	0.0	14.9	42.6	38.2	4.3	18.9
第12回		20年	1~6月	0.0	6.7	26.7	46.7	19.9	0.0	30.1
第11回		19年	7~12月	0.0	6.4	40.4	40.4	12.8	0.0	35.1
第10回		19年	1~6月	1.9	17.3	36.5	36.5	3.9	3.9	43.9
第9回		18年	7~12月	4.2	18.8	41.7	25.0	8.2	2.1	46.4
第8回		18年	1~6月	0.0	34.0	46.8	14.9	4.3	0.0	52.6
第7回		17年	7~12月	2.2	40.0	28.9	20.0	6.7	2.2	52.8
第6回		17年	1~6月	0.0	19.5	31.7	41.5	7.3	0.0	41.5
第5回		16年	7~12月	2.5	15.0	35.0	30.0	17.5	0.0	38.8

第4回	16年	1~6月	2.8	19.4	30.6	38.9	8.3	0.0	42.4
第3回	15年	7~12月	4.0	14.0	28.0	38.0	14.0	2.0	38.8
第2回	15年	1~6月	3.4	11.9	30.5	39.0	15.3	0.0	37.3
初回	14年	7~12月	2.5	8.6	21.0	28.4	37.0	2.5	27.2

質問7 業界の小山市の売上高見通し(来半期の見通し)

見通し対象時期				増加した	やや増加	変わらない	やや減少	減少した	無回答	DI
今回	令和	3年	7~12月	0.0	34.8	43.5	15.2	4.3	2.2	52.8
前回		3年	1~6月	0.0	15.9	36.4	29.5	15.9	2.3	38.4
前々回		2年	7~12月	2.2	17.4	28.3	17.4	30.4	4.3	35.2
第35回		2年	1~6月	0.0	13.7	61.8	18.6	0.0	5.9	48.7
第34回		元年	7~12月	2.2	21.7	38.0	29.3	4.3	4.3	46.8
第33回		元年	1~6月	2.2	24.4	57.8	15.6	0.0	0.0	53.3
第32回	平成	30年	7~12月	5.3	15.8	63.2	15.8	0.0	0.0	52.7
第31回		30年	1~6月	0.0	30.2	53.5	14.0	2.3	0.0	52.9
第30回		29年	7~12月	0.0	10.6	66.0	19.1	4.3	0.0	45.7
第29回		29年	1~6月	0.0	18.4	61.2	18.4	2.0	0.0	49.0
第28回		28年	7~12月	5.6	22.2	44.4	22.2	5.6	0.0	50.0
第27回		28年	1~6月	0.0	17.4	50.0	28.3	2.2	0.0	45.1
第26回		27年	7~12月	0.0	18.4	55.1	24.5	2.0	0.0	47.5
第25回		27年	1~6月	0.0	23.9	43.5	23.9	6.5	2.2	47.4
第24回		26年	7~12月	2.0	18.0	44.0	28.0	6.0	2.0	45.4
第23回		26年	1~6月	2.0	26.5	44.9	16.3	10.2	0.0	48.4
第22回		25年	7~12月	1.9	33.3	48.1	9.3	5.5	1.9	54.3
第21回		25年	1~6月	2.0	32.7	34.7	18.4	10.2	2.0	49.5
第20回		24年	7~12月	0.0	16.7	39.6	27.1	14.5	2.1	39.9
第19回		24年	1~6月	0.0	18.2	50.9	23.6	7.3	0.0	45.0
第18回		23年	7~12月	3.8	13.5	40.4	28.8	11.6	1.9	42.1
第17回		23年	1~6月	4.4	15.6	57.8	17.8	4.4	0.0	49.5
第16回		22年	7~12月	0.0	27.1	47.9	10.4	10.4	4.2	48.9
第15回		22年	1~6月	0.0	10.4	39.6	31.3	18.7	0.0	35.4
第14回		21年	7~12月	1.8	17.5	31.6	35.1	12.2	1.8	40.2
第13回		21年	1~6月	0.0	2.1	14.9	19.1	59.6	4.3	14.4
第12回		20年	7~12月	0.0	4.4	24.4	53.3	17.9	0.0	28.8
第11回		20年	1~6月	0.0	10.6	44.7	38.3	6.4	0.0	39.9
第10回		19年	7~12月	1.9	23.1	57.7	13.5	0.0	3.8	53.5
第9回		19年	1~6月	2.1	29.2	39.6	16.7	6.2	6.2	51.2
第8回		18年	7~12月	2.1	21.3	59.6	10.6	4.3	2.1	51.6
第7回		18年	1~6月	0.0	35.6	42.2	13.3	4.5	4.4	53.5
第6回		17年	7~12月	0.0	22.0	51.2	26.8	0.0	0.0	48.8
第5回		17年	1~6月	2.5	17.5	27.5	40.0	10.0	2.5	40.4

第4回	16年	7~12月	0.0	19.4	58.3	13.9	2.8	5.6	50.0
第3回	16年	1~6月	2.0	18.0	34.0	30.0	12.0	4.0	41.7
第2回	15年	7~12月	0.0	10.0	43.3	31.7	15.0	0.0	37.1
初回	15年	1~6月	0.0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問 9 来半期の販売価格見通し

見通し対象時期				上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	DI
今回	令和	3年	7~12月	4.3	15.2	58.7	15.2	4.3	2.2	50.0
前回		3年	1~6月	2.3	6.8	59.1	22.7	6.8	2.3	43.6
前々回		2年	7~12月	0.0	6.5	56.5	19.6	17.4	0.0	38.0
第35回		2年	1~6月	0.0	19.6	55.9	18.6	0.0	5.9	50.3
第34回		元年	7~12月	2.2	17.4	52.2	23.9	0.0	4.3	49.5
第33回		元年	1~6月	0.0	13.3	71.1	13.3	13.3	0.0	48.9
第32回	平成	30年	7~12月	0.0	10.5	73.7	13.2	0.0	2.6	49.3
第31回		30年	1~6月	0.0	18.6	69.8	11.6	0.0	0.0	51.8
第30回		29年	7~12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0.0	0.0	62.2
第29回		29年	1~6月	0.0	21.3	61.7	10.6	2.1	4.3	51.7
第28回		28年	7~12月	0.0	9.3	64.8	18.5	3.7	3.7	45.7
第27回		28年	1~6月	2.2	13.0	63.0	19.6	2.2	0.0	48.4
第26回		27年	7~12月	0.0	18.4	65.3	14.3	0.0	2.0	51.0
第25回		27年	1~6月	0.0	22.9	58.3	12.5	4.2	2.1	50.5
第24回		26年	7~12月	2.0	20.0	62.0	12.0	2.0	2.0	52.0
第23回		26年	1~6月	4.1	22.4	47.0	20.4	4.1	2.0	50.5
第22回		25年	7~12月	0.0	25.9	51.9	14.8	1.8	5.6	52.0
第21回		25年	1~6月	2.0	16.3	51.0	22.5	4.1	4.1	46.3
第20回		24年	7~12月	0.0	10.4	47.9	35.4	6.3	0.0	40.6
第19回		24年	1~6月	0.0	9.1	50.9	30.9	5.5	3.6	41.5
第18回		23年	7~12月	0.0	7.7	46.2	36.5	5.8	3.8	39.5
第17回		23年	1~6月	0.0	11.1	51.1	35.6	2.2	0.0	42.8
第16回		22年	7~12月	0.0	12.5	54.2	31.3	2.0	0.0	44.3
第15回		22年	1~6月	0.0	4.2	39.6	41.7	14.5	0.0	33.4
第14回		21年	7~12月	1.8	10.5	43.9	29.8	10.5	3.5	40.5
第13回		21年	1~6月	0.0	4.3	23.4	40.4	29.8	2.1	25.6
第12回		20年	7~12月	4.4	17.8	25.6	43.3	6.7	2.2	41.4
第11回		20年	1~6月	2.1	16.0	43.6	29.8	4.2	4.3	45.3
第10回		19年	7~12月	1.9	17.3	50.0	26.9	2.0	1.9	47.5
第9回		19年	1~6月	2.1	18.8	54.2	16.7	4.1	4.1	49.6
第8回		18年	7~12月	0.0	25.5	46.8	21.3	2.1	4.3	50.0
第7回		18年	1~6月	0.0	26.7	46.7	20.0	4.4	2.2	49.5
第6回		17年	7~12月	0.0	14.6	48.8	29.3	0.0	7.3	46.0
第5回		17年	1~6月	0.0	8.1	45.9	40.5	5.5	0.0	39.2

第4回	16年	7~12月	0.0	8.3	61.1	22.2	5.6	2.8	43.5
第3回	16年	1~6月	0.0	12.0	38.0	40.0	6.0	4.0	38.8
第2回	15年	7~12月	0.0	8.6	32.8	48.3	10.3	0.0	34.9

(注) 販売価格見通しは第2回から実施

質問 10 来半期の雇用見通し

見通し対象時期				不足する	やや不足	横ばい	やや過剰	過剰	無回答	DI
今回	令和	3年	7～12月	2.2	15.2	67.4	8.7	2.2	4.3	51.7
前回		3年	1～6月	2.3	13.6	63.6	11.4	4.5	4.5	49.4
前々回		2年	7～12月	0.0	6.5	65.2	19.6	8.7	0.0	42.4
第35回		2年	1～6月	9.8	21.6	56.9	5.9	0.0	5.9	59.4
第34回		元年	7～12月	4.3	23.9	63.0	4.3	0.0	4.3	57.3
第33回		元年	1～6月	13.3	35.6	46.7	0.0	2.2	2.2	64.8
第32回	平成	30年	7～12月	2.6	21.1	65.8	7.9	0.0	2.6	54.7
第31回		30年	1～6月	7.0	30.2	60.5	2.3	0.0	0.0	60.5
第30回		29年	7～12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0.0	0.0	62.2
第29回		29年	1～6月	10.6	34.0	53.2	2.1	0.0	0.0	65.7
第28回		28年	7～12月	3.7	18.5	70.4	1.9	1.9	3.7	55.3
第27回		28年	1～6月	0.0	26.2	64.3	7.1	2.4	0.0	53.6
第26回		27年	7～12月	6.1	22.5	65.3	4.1	0.0	2.0	57.8
第25回		27年	1～6月	8.3	33.3	54.2	2.1	2.1	0.0	62.3
第24回		26年	7～12月	0.0	28.6	67.4	2.0	2.0	0.0	55.7
第23回		26年	1～6月	2.0	26.5	59.2	8.2	0.0	4.1	55.8
第22回		25年	7～12月	0.0	11.1	77.8	7.4	0.0	3.7	51.0
第21回		25年	1～6月	0.0	14.3	67.3	14.3	2.1	2.0	48.9
第20回		24年	7～12月	0.0	6.3	62.5	20.8	6.3	4.1	43.0
第19回		24年	1～6月	1.8	18.2	63.6	9.1	1.8	5.5	52.4
第18回		23年	7～12月	0.0	9.6	61.5	23.1	2.0	3.8	45.5
第17回		23年	1～6月	0.0	6.7	64.4	26.7	2.2	0.0	43.9
第16回		22年	7～12月	2.1	8.3	66.7	12.5	6.2	4.2	46.8
第15回		22年	1～6月	2.1	2.1	54.2	35.4	4.1	2.1	40.5
第14回		21年	7～12月	0.0	7.0	56.1	24.6	3.5	8.8	43.3
第13回		21年	1～6月	4.3	2.1	34.0	36.2	14.9	8.5	34.9
第12回		20年	7～12月	0.0	11.1	80.0	8.9	0.0	0.0	50.6
第11回		20年	1～6月	2.1	17.0	70.2	6.4	0.0	4.3	53.9
第10回		19年	7～12月	3.8	26.9	63.5	1.9	0.0	3.9	58.4
第9回		19年	1～6月	8.3	22.9	52.1	8.3	0.0	8.4	58.5
第8回		18年	7～12月	2.1	21.3	53.2	14.9	2.1	6.4	51.7
第7回		18年	1～6月	0.0	13.3	73.3	6.7	2.3	4.4	50.5
第6回		17年	7～12月	0.0	22.0	61.0	9.8	0.0	7.2	53.3
第5回		17年	1～6月	5.0	5.0	65.0	20.0	2.5	2.5	47.4

第4回	16年	7~12月	0.0	16.7	72.2	8.3	2.8	0.0	50.7
第3回	16年	1~6月	0.0	8.0	56.0	30.0	4.0	2.0	42.3
第2回	15年	7~12月	0.0	8.8	57.9	28.1	5.2	0.0	42.6

(注) 雇用見通しは第2回から実施

質問 11 資金繰りの状況(前半期との比較)

				改善した	やや改善	どちらともいえない	やや悪化	悪化した	無回答	DI
今回	令和	3年	1～6月	2.2	19.6	56.5	15.2	6.5	0.0	48.9
前回		2年	7～12月	0.0	18.2	52.3	18.2	9.1	2.3	45.3
前々回		2年	1～6月	8.7	8.7	26.1	39.1	13.0	4.3	39.8
第35回		元年	7～12月	2.0	3.9	74.5	11.8	3.9	3.9	47.0
第34回		元年	1～6月	6.5	8.7	69.6	13.0	0.0	2.2	52.2
第33回	平成	30年	7～12月	2.2	24.4	62.2	11.1	0.0	0.0	54.4
第32回		30年	1～6月	2.6	15.8	68.4	10.5	0.0	2.6	52.6
第31回		29年	7～12月	4.7	14.0	62.8	18.6	0.0	0.0	51.3
第30回		29年	1～6月	4.3	17.0	70.2	8.5	0.0	0.0	54.3
第29回		28年	7～12月	2.1	17.0	68.1	12.8	0.0	0.0	53.1
第28回		28年	1～6月	7.4	9.3	61.1	18.5	1.9	1.9	50.5
第27回		27年	7～12月	4.3	10.9	69.6	13.0	2.0	2.2	51.7
第26回		27年	1～6月	2.0	6.2	71.4	16.4	2.0	2.0	47.4
第25回		26年	7～12月	2.1	10.4	64.6	20.8	0.0	2.1	48.4
第24回		26年	1～6月	4.0	20.0	56.0	18.0	2.0	0.0	51.5
第23回		25年	7～12月	4.1	16.3	59.2	18.4	0.0	2.0	51.6
第22回		25年	1～6月	3.7	22.2	51.9	18.5	0.0	3.7	52.9
第21回		24年	7～12月	6.1	16.3	53.1	14.3	8.2	2.0	49.4
第20回		24年	1～6月	2.1	18.8	58.3	8.3	8.3	4.2	49.5
第19回		23年	7～12月	9.1	7.3	50.0	20.9	7.2	5.5	47.4
第18回		23年	1～6月	0.0	9.6	48.1	26.9	11.6	3.8	39.5
第17回		22年	7～12月	0.0	17.8	55.6	15.6	8.8	2.2	46.1
第16回		22年	1～6月	4.2	8.3	54.2	27.1	6.2	0.0	44.3
第15回		21年	7～12月	2.1	4.2	62.5	16.7	14.5	0.0	40.7
第14回		21年	1～6月	3.5	10.5	33.3	36.8	10.6	5.3	39.3
第13回		20年	7～12月	2.1	6.4	44.7	34.0	12.8	0.0	37.8
第12回		20年	1～6月	0.0	13.3	48.9	35.6	2.2	0.0	0.0
第11回		19年	7～12月	4.3	8.5	46.8	27.7	6.3	6.4	43.8
第10回		19年	1～6月	3.8	17.3	53.8	21.2	0.0	3.9	50.9
第9回		18年	7～12月	6.3	16.7	54.2	12.5	6.1	4.2	51.2
第8回		18年	1～6月	0.0	21.3	59.6	12.8	2.0	4.3	51.2

(注) 資金繰りの状況は第8回から実施